

【学生確保の見通し等を記載した書類】

本学部の入学定員は、臨床検査学専攻 40 人、臨床工学専攻 40 人としている。その入学定員設定の考え方については、全国及び関東 1 都 6 県、近隣県（新潟県、長野県、山梨県）における臨床検査技師、臨床工学技士の需要に関する社会的背景、関東 1 都 6 県、近隣県（新潟県、長野県、山梨県）に設置する臨床検査技師、臨床工学技士養成を行う他大学学部学科の定員数、志願状況等に基づき設定した。学生確保の見通し及び人材需要の動向等の社会要請は次のとおりである。

1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 入学定員設定の考え方

1) 社会的背景

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会による平成 29 年度会員施設実態調査（資料 1）によると、臨床検査技師数の内訳による年齢層では、正職員のうち 50 歳以上の臨床検査技師は男性が 4,103 人（約 35%）、女性が 4,586 人（約 22%）となっている。令和 9 年(2027 年)にはこの男女 8,689 人（約 27%）は全て 60 歳以上となり、その多くが定年を迎える（同調査にて 60 歳定年制を導入している施設が 83.0%）。この調査は一般社団法人日本臨床衛生検査技師会員のうちの調査に回答した者のみの人数であり、平成 29 年医療施設（静態・動態）調査（資料 2）による病院及び一般診療所にて臨床検査技師として働いている人数（約 67,000 人程度）にこのパーセンテージを当てると、実際は 18,000 人程度が定年を迎える計算になる。一方で 30 歳未満の臨床検査技師は 2,634 人（約 22%）、女性が 5,613 人（約 27%）となっており、50 歳以上に比べ、30 歳未満の臨床検査技師が少ない傾向にあることがわかる。

臨床工学技士は、設置の必要性のところでも前述したが、平成 29 年医療施設（静態・動態）調査によると、病院及び一般診療所にて臨床工学技士として働いている人数は 28,000 人程度である（資料 2）が、臨床工学技士の主要業務である人工透析を受けている患者数は、日本透析医学会の統計調査によると、2018 年 12 月 31 日末時点で 339,841 人となっており、透析患者 12 名に対して 1 名の臨床工学技士が仕事をしている概算になるが、臨床現場では患者 5 名に対して 1 名程度の臨床工学技士が、つまり現在の約 2 倍以上の臨床工学技士が必要といわれている（一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会 HP より）。

2) 群馬県内及び北関東における臨床検査技師、臨床工学技士の養成を行う教育機関

日本臨床検査学教育協議会の資料によると、群馬県内及び北関東（栃木県・茨城県）の臨床検査技師を養成する教育機関は、群馬県では国立大学 1 校（群馬大学医学部保健学科検査技術科学専攻：定員 40 人）と私立大学 1 校（群馬パース大学保

健科学部検査技術学科：定員 60 人）、栃木県では公立専門学校（栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学部臨床検査学科：定員 20 人）、茨城県では国立大学 1 校（筑波大学医学群医療科学類：定員 37 人）私立大学 1 校（つくば国際大学医療保健学部臨床検査学科：定員 80 人）である。

また、日本臨床工学技士教育施設協議会の資料によると、群馬県内及び北関東（栃木県・茨城県）の臨床工学技士を養成する教育機関は、群馬県では私立大学 1 校（群馬パース大学保健科学部臨床工学科：定員 50 人）と私立専門学校（太田医療技術専門学校臨床工学科：定員 40 人）、栃木県では私立専門学校（さくら総合専門学校臨床工学科：定員 40 人）、茨城県では私立大学 1 校（つくば国際大学医療保健学部医療技術学科：定員 40 人）である。

3)同系列の学部学科等の志願状況

臨床検査技師を養成する群馬県内及び北関東の教育機関について、2019 年度入試実施状況を各校のホームページ上の公開データで調べると（※栃木県立衛生福祉大学校とつくば国際大学は旺文社パスナビ資料より）、群馬県内の群馬大学医学部保健学科検査技術科学専攻では定員 40 人に対し 149 人の受験者（定員に対する受験倍率 3.7 倍）、群馬パース大学保健科学部検査技術学科では定員 60 人に対し 446 人の受験生（定員に対する受験倍率 7.4 倍）であり、栃木県の栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学部臨床検査学科では定員 20 人に対し 82 人の受験生（定員に対する受験倍率 4.1 倍）、茨城県の筑波大学医学群医療科学類では定員 37 人に対し 77 人の受験生（定員に対する受験倍率 2.1 倍）、つくば国際大学医療保健学部臨床検査学科では定員 80 人に対し 208 人の受験生（定員に対する受験倍率 2.6 倍）といずれも高倍率となっており、特に群馬県内養成校はかなりの高倍率となっている。

また、臨床工学技士を養成する群馬県内及び北関東の教育機関について、2019 年度入試実施状況を各校のホームページ上の公開データで調べると（※太田医療技術専門学校臨床工学科とさくら総合専門学校臨床工学科は非公開、つくば国際大学は旺文社パスナビ資料より）、群馬県内の群馬パース大学保健科学部臨床工学科では定員 50 人に対し 278 人の受験者（定員に対する受験倍率 5.6 倍）、太田医療技術専門学校臨床工学科では定員 40 人に対し受験者数は非公開。栃木県のさくら総合専門学校臨床工学科では定員 40 人に対し受験者数は非公開、茨城県のつくば国際大学医療保健学部医療技術学科では定員 40 人に対し 74 人の受験生（定員に対する受験倍率 1.9 倍）といずれも高倍率となっており、特に群馬県の群馬パース大学はかなりの高倍率となっている。

上記、1) ～3)を踏まえ、本学部の学生確保の見通しを客観的に裏付けるために 2019 年度高校 2 年生に実施したアンケート調査（詳細は後述する）によると、本学部に「ぜひ進学したいと思う」と回答したのは 81 人、「進学先の 1 つとして検討

したいと思う」と回答したのは842人と、計923人の高校生が本学部を進学先の対象として考えているという結果だった。

周辺地域における同系列の学部学科の設置状況や近年の志願動向、本学の教育環境、体制を考慮し、さらには高校生に対するアンケート調査結果や私立大学としての収支の均衡の観点から総合的に判断して、入学定員を80人とする事とした。

②既存学部等の定員充足状況

既存学部等（社会福祉学部、看護学部、リハビリテーション学部、短期大学部）の平成27（2015）年以降の志願者・受験者・合格者・入学者・入学定員超過率の状況は、表「群馬医療福祉大学既存学部の定員充足状況」のとおりである。

表 群馬医療福祉大学既存学部の定員充足状況

大学・学部等名	項目	平成31年度	30年度	29年度	28年度	27年度	申請時平均入学定員超過率
社会福祉学部 社会福祉学科	志願者	207	209	122	246	312	(0.83)
	受験者	201	207	121	240	305	
	合格者	147	107	86	118	120	
	入学者	59	75	68	87	90	
	入学定員超過率 入学定員	(0.65) 90	(0.83) 90	(0.75) 90	(0.96) 90	(1.00) 90	
社会福祉専攻	志願者	119	131	68	145	179	(0.84)
	受験者	115	130	68	144	173	
	合格者	84	65	46	69	69	
	入学者	36	43	37	47	49	
	入学定員超過率 入学定員	(0.72) 50	(0.86) 50	(0.74) 50	(0.94) 50	(0.98) 50	
子ども専攻	志願者	88	78	54	101	133	(0.83)
	受験者	86	77	53	96	132	
	合格者	63	42	40	49	51	
	入学者	23	32	31	40	41	
	入学定員超過率 入学定員	(0.57) 40	(0.80) 40	(0.77) 40	(1.00) 40	(1.02) 40	
看護学部 看護学科	志願者	379	373	278	461	539	(1.13)
	受験者	355	361	264	450	526	
	合格者	127	127	123	123	131	
	入学者	91	91	90	91	95	
	入学定員超過率 入学定員	(1.13) 80	(1.13) 80	(1.12) 80	(1.13) 80	(1.18) 80	
リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	志願者	407	314	333	518	447	(1.05)
	受験者	397	305	331	513	441	
	合格者	127	113	83	81	91	
	入学者	77	72	57	67	66	
	入学定員超過率 入学定員	(1.10) 70	(1.02) 70	(0.95) 60	(1.11) 60	(1.10) 60	
理学療法専攻	志願者	230	198	195	313	271	(1.08)
	受験者	225	190	193	310	267	
	合格者	66	52	51	48	51	
	入学者	39	38	34	40	39	
	入学定員超過率 入学定員	(1.11) 35	(1.08) 35	(0.97) 35	(1.14) 35	(1.11) 35	
作業療法専攻	志願者	177	116	138	205	176	(1.02)
	受験者	172	115	138	203	174	
	合格者	61	47	32	33	40	
	入学者	38	34	23	27	27	
	入学定員超過率 入学定員	(1.08) 35	(0.97) 35	(0.92) 25	(1.08) 25	(1.08) 25	
短期大学部 医療福祉学科	志願者	90	97	65	109	105	(0.63)
	受験者	90	97	64	105	103	
	合格者	81	64	49	60	60	
	入学者	48	59	40	53	54	
	入学定員超過率 入学定員	(0.60) 80	(0.73) 80	(0.50) 80	(0.66) 80	(0.67) 80	

1)社会福祉学部社会福祉学科の入学定員は 90 人（社会福祉専攻 50 人・子ども専攻 40 人）であり、過去 5 年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学定員超過率は次のとおりである。

○志願者数 平成 27(2015)年度 312 人、平成 28(2016)年度 246 人、平成 29(2017)年度 122 人、平成 30(2018)年度 209 人、平成 31(2019)年度 207 人

○受験者数 平成 27(2015)年度 305 人、平成 28(2016)年度 240 人、平成 29(2017)年度 121 人、平成 30(2018)年度 207 人、平成 31(2019)年度 201 人

○合格者数 平成 27(2015)年度 120 人、平成 28(2016)年度 118 人、平成 29(2017)年度 86 人、平成 30(2018)年度 107 人、平成 31(2019)年度 147 人

○入学者数 平成 27(2015)年度 90 人、平成 28(2016)年度 87 人、平成 29(2017)年度 68 人、平成 30(2018)年度 75 人、平成 31(2019)年度 59 人

○入学定員超過率 平成 27(2015)年度 1.00 倍、平成 28(2016)年度 0.96 倍、平成 29(2017)年度 0.75 倍、平成 30(2018)年度 0.83 倍、平成 31(2019)年度 0.65 倍

2)看護学部看護学科の入学定員は 80 人であり、過去 5 年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学定員超過率は次のとおりである。

○志願者数 平成 27(2015)年度 539 人、平成 28(2016)年度 461 人、平成 29(2017)年度 278 人、平成 30(2018)年度 373 人、平成 31(2019)年度 379 人

○受験者数 平成 27(2015)年度 526 人、平成 28(2016)年度 450 人、平成 29(2017)年度 264 人、平成 30(2018)年度 361 人、平成 31(2019)年度 355 人

○合格者数 平成 27(2015)年度 131 人、平成 28(2016)年度 123 人、平成 29(2017)年度 123 人、平成 30(2018)年度 127 人、平成 31(2019)年度 127 人

○入学者数 平成 27(2015)年度 95 人、平成 28(2016)年度 91 人、平成 29(2017)年度 90 人、平成 30(2018)年度 91 人、平成 31(2019)年度 91 人

○入学定員超過率 平成 27(2015)年度 1.18 倍、平成 28(2016)年度 1.13 倍、平成 29(2017)年度 1.12 倍、平成 30(2018)年度 1.13 倍、平成 31(2019)年度 1.13 倍

3)リハビリテーション学部リハビリテーション学科の入学定員は 70 人（理学療法専攻 35 人・作業療法専攻 35 人）（※平成 29 年度入学生以前の入学定員は 60 人／理学療法専攻 35 人・作業療法専攻 25 人）であり、過去 5 年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学定員超過率は次のとおりである。

○志願者数 平成 27(2015)年度 447 人、平成 28(2016)年度 518 人、平成 29(2017)年度 333 人、平成 30(2018)年度 314 人、平成 31(2019)年度 407 人

○受験者数 平成 27(2015)年度 441 人、平成 28(2016)年度 513 人、平成 29(2017)年度 331 人、平成 30(2018)年度 305 人、平成 31(2019)年度 397 人

○合格者数 平成 27(2015)年度 91 人、平成 28(2016)年度 81 人、平成

29(2017)年度 83 人、平成 30(2018)年度 113 人、平成 31(2019)年度 127 人

○入学者数 平成 27(2015)年度 66 人、平成 28(2016)年度 67 人、平成 29(2017)年度 57 人、平成 30(2018)年度 72 人、平成 31(2019)年度 77 人

○入学定員超過率 平成 27(2015)年度 1.10 倍、平成 28(2016)年度 1.11 倍、平成 29(2017)年度 0.95 倍、平成 30(2018)年度 1.02 倍、平成 31(2019)年度 1.10 倍

4)短期大学部医療福祉学科の入学定員は 80 人であり、過去 5 年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学定員超過率は次のとおりである。

○志願者数 平成 27(2015)年度 105 人、平成 28(2016)年度 109 人、平成 29(2017)年度 65 人、平成 30(2018)年度 97 人、平成 31(2019)年度 90 人

○受験者数 平成 27(2015)年度 103 人、平成 28(2016)年度 105 人、平成 29(2017)年度 64 人、平成 30(2018)年度 97 人、平成 31(2019)年度 90 人

○合格者数 平成 27(2015)年度 60 人、平成 28(2016)年度 60 人、平成 29(2017)年度 49 人、平成 30(2018)年度 64 人、平成 31(2019)年度 81 人

○入学者数 平成 27(2015)年度 54 人、平成 28(2016)年度 53 人、平成 29(2017)年度 40 人、平成 30(2018)年度 59 人、平成 31(2019)年度 48 人

○入学定員超過率 平成 27(2015)年度 0.67 倍、平成 28(2016)年度 0.66 倍、平成 29(2017)年度 0.50 倍、平成 30(2018)年度 0.73 倍、平成 31(2019)年度 0.60 倍

③定員未充足学部学科の原因分析及び対策について

「群馬医療福祉大学既存学部の定員充足状況」の表のとおり、看護学部とリハビリテーション学部の志願者・受験者・合格者・入学者・入学定員超過率は、年度によって多少の上下動はあるものの、平均して安定的に入学定員を確保している。しかしながら、社会福祉学部と短期大学部は過去 5 年間のデータでは定員未充足の状態が続いており、学生確保が難しい状況である。社会福祉学部は平成 14 年の群馬社会福祉大学（現在の群馬医療福祉大学）開学以来、短期大学部は平成 8 年の群馬社会福祉短期大学（現在の群馬医療福祉大学短期大学部）開学以来、建学の精神のもと、地域貢献活動やボランティア活動を通して地域に根ざした学園として信頼を得てきた。前身である群馬社会福祉専門学校（平成元年開設）での実践教育の実績を含めると、わが国の社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士養成制度の歴史とともに、その人材養成の役割を果たしてきたと確信している。

しかしながら、昨今の若者の「福祉離れ」もあってか、本学の社会福祉学部と短期大学部は定員未充足の状態が続いている。福祉現場の人材不足が、マイナスイメージのみの偏った報道につながっており、若年層が福祉を学びとしてまた職業として選択しようとする意志が弱くなっているのではないかと危惧されている。全国的にも福祉系大学・短大は苦戦を強いられており、日本私立学校振興・共済事業団の調査「私立

大学・短期大学等入学志願動向」をみると、社会福祉系学部の充足率は他学部と比較すると低い状況であり、介護福祉士養成校に至っては5割充足がやっとという厳しい状況である。2018年度の日本介護福祉士養成施設協会の発表では、2006年度から2018年度の12年間で、介護福祉士を養成する大学や専門学校への入学者数は、およそ3分の1近くまで減少している。すなわち若年層の福祉離れの加速化が止められない状況となってしまうている。一方で、福祉サービスの人材不足はますます深刻であり、福祉系学部学科の定員削減や募集停止は、深刻な福祉人材不足にさらに拍車をかけることにもなり、各養成校とも福祉人材の輩出という社会的役割と志願者数の低迷の狭間で苦慮しているのが現実である。

本学としても、群馬県内のみならず、隣接県である埼玉、長野、新潟、栃木、茨城を中心に東北地方にまで足を伸ばし、高校教員、高校生、保護者等へ学部の教育内容や教育環境等について、継続的に高校訪問や会場説明会、またオープンキャンパス等の機会を通じて説明してきた。しかし、社会福祉・介護福祉分野への進学を積極的に薦めない雰囲気が高校教員にもあり、なかなか「福祉離れ」を取り払うまでのイメージアップについては志願者増にはつながっていない。

特に、短期大学部は平成29（2017）年度の入学定員超過率が0.50倍という深刻な状況にまで落ち込み、本学園としても改善策を講じてきた結果、徐々にではあるが上向きに改善されている。その一因として、従来の介護福祉学科による介護福祉士養成のみの課程を見直し、学科名を医療福祉学科とし（平成26年12月文部科学省届出）、新たに医療秘書・医療事務養成のコースを新設し、新たな学生確保の道筋とした。医療秘書資格については、日本医師会認定医療秘書養成機関としての認可をいただき、志願者増につながっている。また、厚生労働省の離職者訓練事業の委託訓練先として訓練生を受け入れ、平成31（令和元）年度は7名の介護福祉士資格取得希望者が学んでいる。さらに、平成29年4月には「介護福祉士実践コース」を設け、平成31（令和元）年度は6名の学生が学んでいる。介護福祉士実践コースとは、介護福祉コースのカリキュラムを変更し、授業は1～3限として、それ以降は特別養護老人ホーム等で介護業務の補助としてアルバイトをして、アルバイトで収入を得ながら介護の実践で技術などを身につけることができるコースであり、新卒者だけでなく、社会人入学を支援するための制度である。平成31（令和元）年度には新たに医療事務・秘書コースにおける医療秘書・医療事務に関する一般的及び専門的教養の基礎のうえに、さらに、専門的な知識・技術を身につけた医療人材としての「診療情報管理士」を養成するために専攻科（診療情報管理士教育）を設置し、初年度は6名の学生が学んでいる。

定員未充足が続く社会福祉学部と短期大学部においては、上記のような学生のニーズ・社会のニーズに適した教育内容の充実に取り組み、その情報をガイダンスやオープンキャンパス等を通じて情報発信を継続することにより定員の充足に努めていく

いと考えている。また、社会人入試を見直し、生涯学習機関としての役割もさらに重視するとともに、日本語学校との提携により外国人入学の制度化を進める方針である。社会人入試に関しては、生涯学習という視点で考えると、「介護・福祉は若い世代が担うもの」という固定概念を払拭し、高年齢者が新たに活躍できる就労の場を考えていくことも、今後は必要である。このことから、福祉施設と連携を図り高年齢者が福祉人材として就労可能なモデルケースを構築していくことも福祉系養成校の使命と考える。実際に、本学で行っている公開講座や市委託で行っている「訪問型サービスA従事者養成研修」の受講者をみても、十分に需要が見込まれる。このことを強力に推進することで社会人の入学者増を図っていく。さらに、福祉現場で働く資格未取得者を対象としたカリキュラムを検討し、学びやすいリカレント教育の場を設定し入学者獲得に努めたい。外国人入学については、受け入れ後の支援体制の強化のため、2019年4月より学内に「国際交流センター」を設け、外国語（英語、中国語）に長けた教職員を配置し、受け入れ体制を整えた。また、外国人学生の学費の支払いに苦慮する実態を改善するため、日本学生支援機構や民間の奨学金の情報収集に努め、活用を促し、無理なく学費納入できる環境を整えていく。ただし、保証人がいないためにこれらの奨学金が活用できないケースが考えられるため、本学独自の奨学金制度や留学生に配慮した学費の設定、納入方法を具体的に検討していく予定である。この点を日本語学校などに情報提供し、入学につなげていく。

2018年度より「AO入試高大連携型」を導入している。締結校は64校（2019年度現在）であり、入学者確保のひとつの手段となっているが、高大連携型入試においても医療系学部への志願者が多い反面、福祉系学部への志願者は少数であり、社会福祉分野を目指す受験者には浸透していない入試形態であることから、高校訪問などを通じて、周知していく予定である。

(2)定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

医療技術学部医療技術学科設置にあたり、客観的なデータに基づいて、学生確保の見通しを検討するため、学生募集の中心となる群馬県、北関東（栃木県・茨城県）、隣接県（埼玉県・長野県・新潟県・福島県）及び既存学部への受験生が多い東北（山形県・秋田県）の高校生を対象に医療技術学部医療技術学科に関する受容性調査を行った。調査の概要と結果は以下のとおりである。（資料3）

①受容性調査の目的

令和3年4月に開設を予定している群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）の新設計画に伴い、具体的に受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行うことで入学志願者の分析を行い、新設構想の基礎資料とすることを目的とする

②調査期間

2019年11月～12月

③調査対象・地域

東北・関東・中部エリアの高等学校に在籍する現役高校2年生 5,856名

④調査方法

郵送アンケート調査

⑤回収状況

5,144件（回収率 87.8%）無回答は集計対象外とした。

⑥調査結果の概要

1) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への興味・関心（問8）

大学・短期大学・専門学校・専修学校を進学先として検討している高校2年生に対し、本学医療技術学部医療技術学科への興味・関心について尋ねたところ、「とても興味・関心をもった」は7.3%（333人）、「少し興味・関心をもった」は46.7%（2,126人）であり、これらを合計すると回答者の54.0%（2,459人）が本学医療技術学部医療技術学科に対して興味・関心を持っていると言える。

2) 臨床検査技師及び臨床工学技士国家資格取得への興味（問9）

【臨床検査技師】臨床検査技師の国家資格取得への興味について尋ねたところ、「とても興味・関心をもった」は8.8%（400人）、「少し興味・関心をもった」は41.0%（1,861人）であり、これらを合計すると回答者の49.8%（2,261人）が臨床検査技師の国家資格取得に興味を持っていると言える。

【臨床工学技士】臨床工学技士の国家資格取得への興味について尋ねたところ、「とても興味・関心をもった」は6.6%（301人）、「少し興味・関心をもった」は40.1%（1,817人）であり、これらを合計すると回答者の46.7%（2,118人）が臨床工学技士の国家資格取得に興味を持っていると言える。

3) 本学医療技術学部医療技術学科（仮称）への進学意向（問10）

大学・短期大学・専門学校・専修学校を進学先として検討しており、問8で本学医療技術学部医療技術学科（仮称）に「とても興味・関心をもった」「少し興味・関心をもった」と回答した高校2年生（2,459人）に対し、本学医療技術学部医療技術学科への進学意向を尋ねたところ、「ぜひ進学したいと思う」は3.3%（81人）、また、「進学先の1つとして検討したいと思う」は34.3%（842人）であり、合計37.6%（923人）の高校2年生が本学医療技術学部医療技術学科を進学先として検討するとの数値になっている。さらにこの数値を進学希望エリア別でクロス集計すると、群馬県に進学したい高校2年生において「ぜひ進学したいと思う」と「進学先の1つとして検討したいと思う」は合計42.9%（488人）に上る。

本学医療技術学部医療技術学科への進学意向で「ぜひ進学したいと思う」と「進学先の1つとして検討したいと思う」を合わせた37.6%（923人）という数値を、今回の受容性調査の全体の配付件数（5,856人）に当てはめると、無回答者が全て「進学したいと思わない」と仮定しても、高校2年生の15.8%が潜在的な進学

希望者であると考えることができる。

これらの結果から、高校生の医療技術学部医療技術学科への関心、臨床検査技師、臨床工学技士の国家試験受験資格に対する興味は高く、本学部への進学希望者は81人であり、アンケート回答者だけでも入学定員80名に相当する進学希望者がいることから、定員充足の見通しは良好であると考えられる。

(3)学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定にあたり、入学定員80人、収容定員320人を想定、完成年度での収支の均衡を基本として、競合すると考えられる臨床検査技師と臨床工学技士のダブルライセンス取得可能大学、群馬県と近県（茨城県・栃木県・埼玉県）の臨床検査技師及び臨床工学技士養成課程を持つ私立大学及び群馬医療福祉大学リハビリテーション学部の2020年度入学生の学生納付金を調べた「新学部学生納付金設定検討資料」（資料4）を参考に、本学の既存の医療系学部であるリハビリテーション学部を基本に、各大学の4年間の学納金の平均的金額に収まるよう設定した。その結果、入学金30万円（初年度のみ）、授業料95万円（1年間）、施設設備費・維持費60万円（1年間）と設定した。

(4)学生確保に向けた具体的な取り組み状況

新設の医療技術学部の学生確保については、既存の定員未充足学部学科の原因分析及び対策方針を十分に踏まえ、次のような方針で取り組むこととする。

- ①新学部設置に合わせ、既存の学部学科についても2021年度入学試験受験生に対し本学の教育理念や教育目標を踏まえた、具体的な入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を再検討し改定公表することにより、受験生、保護者及び高等学校等に対して本学の方針を理解していただく。
- ②本学の特色や入学者受入方針等の周知を図るため、大学ホームページや案内用冊子の内容の充実を図るとともに、大学説明会やオープンキャンパス、高校訪問等の機会を有効に利用し、広報の強化を図る。
- ③毎年の志願者数や入学者数の推移、入学後の成績等の状況を検証し、アドミッション・ポリシーに沿った優秀な学生の受入れに向け選抜方法や試験日程等入試制度全般にわたり継続的な検討、改善を図る。
- ④リカレント教育の一環として多様な志望動機や職業経験を持った志願者に対応するため、まずは短期大学部から社会人向けの履修環境のさらなる改善や県内自治体等からの受入れ環境の整備など、必要な取組みを展開し、新設学部を含めた既存学部においてもリカレント教育の環境整備について検討を進める。
- ⑤外国人留学生の受け入れを積極的に進めるため、留学関係事務職の充実や入試制度の構築及び留学生の居住環境の整備などの改革に取り組み、留学に関する情

報提供や修学・生活・就職にわたる総合的な支援を行う。

新設の医療技術学部具体的な学生確保の取り組みとしては、医療技術学部の教育内容を高校生（受験生）や地域社会により明確に伝えるため、大学ホームページやSNSでの発信、案内用冊子（パンフレット）及びリーフレット等の発送等にて周知する。高校教諭対象の説明会、オープンキャンパス等のイベントについては、既存学部の行事計画に則り進めるとともに、適切な時期に新学部独自の説明会を実施し、高校教諭、保護者、高校生（受験生）に学部学科の周知を行う。特に臨床検査技師と臨床工学技士の将来性や業務内容等について、実際の医療機器を使った体験やリーフレットの配付を通じて理解が深まるよう、新学部の特化した広報を展開する。また新聞、ラジオ、雑誌、ウェブサイト等のメディアを通じた広報を継続し認知度を高めていく。

広報活動については、設置申請前は「設置構想中」、設置申請後は「認可申請中」と記載し、「設置計画は予定であり、内容等に変更があり得る」と明示して広報活動を展開する。設置認可後に募集要項の配付、出願受付、入学者選抜試験の実施を円滑に進められるように事前に検討と準備を重ねておく。PR活動は、高等学校教諭を対象にした企画と、受験生及びその保護者を対象とした企画を展開し、いずれの場合も大学ホームページやSNSでの発信、案内用冊子（パンフレット）及びリーフレット等の発送、メディア等を通じた広報によって、企画の内容を十分に周知したうえで実施できるようにしたいと考えている。

本学では例年、群馬県内の全ての高等学校はもちろんのこと、関東甲信越、東北の高等学校約1200校へ3～4回ずつ広報活動のために訪問しており、2020年度は例年以上に高校数を増やし、既存学部学科の高校訪問に併せて、医療保健学部医療技術学科のPRを実施したいと考えている。設置認可後には高校だけでなく、予備校や塾等への訪問も実施する。また、本学では出張説明会（相談会）を実施しており、高等学校からの要望により、高等学校に赴いて本学の教育方針、学部・学科の内容、入試制度、就職状況など、詳細なデータと共に、わかりやすく説明している。さらに、高等学校教諭を対象とした説明会は、既存の学部学科では例年3月に高大連携締結校を対象とした「高大連携情報交換会」、5月に群馬県内高等学校及び県外の学生受入実績のある高等学校を対象とした「高等学校教諭対象学校説明会及び情報交換会」を本学独自に実施しており、既存学部学科と併せて医療技術学部医療技術学科の教育内容及び国家試験受験対策、進路指導体制等を紹介することにより、新学部への理解促進の機会とする。

オープンキャンパスは例年、3月、6月、7月、8月（2回）の計5回実施されているが、既存学部学科のオープンキャンパスに併せて医療技術学部医療技術学科に関する案内を行い、広く医療技術学部及び臨床検査技師・臨床工学技士の内容について広報する。設置認可後は、医療技術学部医療技術学科単独でのオープンキャン

ンパスを開催し、実際に教育機器・実習実験機器に触れたり、教育内容について詳しく説明することにより、大学で何を学ぶのかどんな技術を身につけるのかを体験する良い機会とするとともに、募集要項の配布と受験に関する説明を行う。受験生・保護者にとって大学全体の雰囲気や学部学科・学生生活等をより身近に感じ取ることができ、他学部の在学生とも直接対話ができる機会として、効果的な学生確保のための取組みの一つと位置付けている。

進学関連業者による進路相談会（大学入試・入学説明会）には例年 50 会場程度参加しており、募集要項の配付や教育内容の説明を実施している。群馬県内での説明会だけでなく、栃木県・茨城県・埼玉県・長野県・新潟県・福島県等で開催される相談会にも参加しているが、新学部設置あたり参加会場数を増やし、各地域からの進学希望者の要望に応じて、受験生の確保に努める。

新学部広報用として「設置構想中」と明記したリーフレットを令和元(2019)年 9 月に作成し、
本学への資料請求者に対してパンフレットに同封して送付しているほか、高校訪問時や進路相談会、オープンキャンパスにて配付している。認可申請後には「設置認可申請中」と明記したより詳しい学校案内を作成して広報活動に利用する。設置認可後には、医療技術学部医療技術学科のパンフレット及び入試要項を作成し配布する予定である。進学情報誌等にも、新学部の情報として適切なタイミングで「設置構想中」「設置認可申請中」であることを明記したうえで、本学の医療技術学部医療技術学科の内容について広報を行う。本学が保有するリストにより、本学資料やイベント案内等の DM を送付する。あわせて、本学ホームページにて情報発信を行うとともに、Web 広告や SNS 及びメールマガジン等を活用し適宜情報発信する。
以上のような取り組みにより、学生確保に向けて努めていきたいと考えている。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1)人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医療技術学部医療技術学科は、少子高齢社会で、ますます充実が望まれる医療福祉の分野において、「医療人としての高い倫理観と責任感を持ち、臨床検査学、臨床工学の知識・技術を身につけ、その知識・技術を実践に生かすことができ、日々発展する医療の変化に対応し、チーム医療の一員として活躍できる地域に根差した医療技術者および研究者・教育者」を養成することを目的としている。本学は保健・医療・福祉の大学として、既設の学部学科で介護福祉士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等の専門職能人を養成してきた。近年、加えてチーム医療や多職種連携の担い手としての保健・医療・福祉分野で活躍できる人材の養成を行っている。それは保健医療福祉の環境の変化に伴い、多様な問題を有する対象者が増加しており、保健医療福祉専門職に求められるニーズも多様化しているからである。今日

の医療現場で期待される社会ニーズは、福祉との連携なしには充足されない。本学社会福祉学部との教育連携で、福祉に関する深い知識と関心を持ち、福祉と協働することにより、医療技術の専門性がより発揮・発展できる臨床検査学・臨床工学専門職者を養成する。本学では、以前より学部間を超えてチーム医療について学んでいる（科目名はチームケア入門）。社会福祉学部（社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、公認心理師、教員等を養成）と看護学部（看護師、保健師等を養成）とリハビリテーション学部（理学療法士、作業療法士を養成）及び短期大学部医療福祉学科（介護福祉士、医療秘書等を養成）の学生が一堂に会してそれぞれの職種の立場で学んでいる。この科目は、包括的視点で対象者を捉え、多職種による円滑なケアが展開できるための基礎的知識・技術・態度について学び多職種連携のあり方を修得することをねらいとし、他学部・学科との学生間の交流を通して、多職種の連携の必要性について気づくことができる。福祉・医療総合大学の特色を生かし、新学部を含めた4学部・短期大学1学科の合同チームで「チーム医療（チームケア）」について教育し、福祉から医療まで理解し、多様な問題に対処できる臨床検査技師と臨床工学技士を養成する。

わが国は、世界が今までに経験したこともない速度で高齢社会を迎えている。人々の長寿が実現する社会は人類の長年の夢であった。しかし、今日、長寿の実現が社会の活力や人々の幸福に必ずしも直結していない。それは、福祉・医療等をはじめとする諸々の社会システムの改造や新しいニーズに対応する人材の育成が遅れている側面があるからである。医療の高度化、専門化に伴い、医師をはじめとしたメディカルスタッフの充実が必要となっている。医師の不足や偏在の解消には時間を要するため、他のメディカルスタッフには、これまで以上に多種多様な役割と能力が求められる。それには緻密な観察に基づく的確な判断力と技術力に加え、対人関係能力、倫理的判断能力が求められている。また、医療現場においては、他職種との調整をはじめ、保健医療福祉分野における役割や責任の拡大に伴い、幅広い教養と豊かな知識・技術に裏付けされた問題解決能力が求められている。このような状況のなか「チーム医療」は今後ますます推進され、患者の状況に的確に対応した医療を提供するため、これまで医師が行ってきた医療行為の中で、医師以外のメディカルスタッフが行うことができる業務が増加している。情報を共有し各分野のメディカルスタッフがそれぞれの専門性を発揮することで、より効率的・効果的に医療を提供することができるからである。

以上から、本学では医療技術に関する高度の知識・技術を基盤として、関連他職種についての知識を身に付け、多職種連携における他者とのコミュニケーション能力と課題の発見と解決能力を涵養し、医療の現場で指導的役割を果たし、また、教育や研究の場で活躍できる臨床検査技師・臨床工学技士の養成を目的として医療技術学部医療技術学科を開設する。

(2)人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が社会的、地域的な人

材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

人材需要の動向については設置の趣旨及び必要性のところでも触れたが、社会的人材需要の観点から、臨床検査技師、臨床工学技士の必要性を見てみると次の通りである。

① 臨床検査技師の必要性

現在の医療は高度化・専門化している上に、Evidence-based Medicine（根拠に基づいた医療）の実践が求められている。そのためには、臨床検査技師がチーム医療の一員として、検体検査や生理機能検査などの各種検査結果に基づいた正確かつ有用な情報を迅速に提供することが重要である。臨床検査の現場では、遺伝子検査をはじめとした新たな検体検査項目が次々と加わり、現在 1700 項目以上となっている。また、生理機能検査においても各種超音波検査、眼底検査、MRI 検査などの検査機器や検査手技が大きく進歩している。しかし、現在の正職員である臨床検査技師の年齢層をみると 50～59 歳が 7,499 人と最も多く、団塊の世代の退職が相次いでいる現在に加え、10 年後にはこれらの職員が退職し、さらなる臨床検査技師の不足が懸念される。また、最終学歴をみると専門学校・短期大学卒が約 70% を占め、大学卒は 30% である（平成 29 年度日本臨床衛生検査技師会会員施設実態調査より）。よって、最新の臨床検査学の知識・技術を有し、日々自己研鑽を積み、医療の進歩に対応できる臨床検査技師の養成が必要である。

平成 19 年 12 月 28 日付の厚生労働省医政局長通知「医師及び医療機関職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」のなかで、病院に勤務する医師が極めて厳しい勤務環境に置かれており、その要因のひとつに、医師以外でも対応可能な業務を医師が行っている現状がある。看護師等の医療関係職種においては各専門性が十分に発揮されていないことから、良質な医療を継続的に提供していくためには、各医療機関の医師、看護師等の医療関係職と事務職員等の職種間で適切に役割分担を図り業務を行って行くことが重要である」とされている。その具体例のひとつに「採血、検査についての説明」が示され、「採血、検査説明については、医師の指示のもとに看護職員及び臨床検査技師が行うことができる。」とされているが、臨床検査技師が十分に関わっていない現状がある。したがって医師と看護職員及び臨床検査技師との適切な業務分担を導入することで、医師等の負担軽減を図ることが必要である」と記されている。すなわちこれは、採血や検査説明に対して、国（厚生労働省）から臨床検査技師への更なる業務拡大を要請する文書と言える。このような状況を受けて、日本臨床検査技師会は「チーム医療推進検討委員会」を立ち上げ、チーム医療の精神に鑑み、臨床検査技師の職能団体として、全国レベルで「検査説明・相談ができる技師育成」に取り組んでいる。本学においてはこれまで相談業務に就く人材の養成を実践しており、新学部の子学生に対しても、病態を正しく理解し検査説明・相談のできる技師を養成したいと考えている。

平成 25 年 8 月 6 日の社会保障制度改革国民会議で、「医療職種の職務の見直しを

行うとともに、チーム医療の確立を図ることが重要」であり、「医療職種の職務の見直しは医師不足問題にも資するものがある。医師不足といわれる一方で、この問題は必ずしも医師数の問題だけではなく、医師でなければ担えない業務以外の仕事も医師が担っているために医師不足が深刻化している側面がある。その観点から、医師の業務と看護業務の見直しは、早急に行なうべきである。」と報告された。そこで、平成 25 年 12 月 27 日、社会保障審議会医療部会では臨床検査技師の業務範囲の見直しが盛り込まれ、平成 27 年 4 月以降、新たな検体採取業務が臨床検査技師の業務範囲に含まれることになった。それまで臨床検査技師が行うことのできる検体採取は採血のみであったが、鼻腔拭い液や口腔の粘膜採取なども認められるようになった。これは、検体の採取から検査の実施までをスムーズに行い、より精度の高い検査結果を出すことが目的である。さらに、最近では臨床検査技師の病棟業務も注目されている。これはベッドサイドでの検体採取や検査の説明など、これまでは看護師に任せていた業務を臨床検査技師が行うというものである。今後はこのような業務も増え、臨床検査技師と患者の関係がより近づき、チーム医療の中で活躍できる場面が増えていくと予想される。前述したように第 66 回社会保障審議会医療部会の「医療提供体制の改革について」においても述べられているように、医師の業務の臨床検査技師へのタスク・シフティング、タスク・シェアリングが進むと考えられる。

また、臨床検査技師の就職先は病院だけでなく、検査センター、製薬企業、行政機関なども様々であり、治験コーディネーター（Clinical Research Coordinator: CRC）などと職域は拡大している。日本 SMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）協会のデータによれば、CRC の資格別割合が最も高いのは臨床検査技師（31.2%）である。よって、職域の拡大に対応でき、高い倫理観を持ち、患者との良好なコミュニケーションをとることができる臨床検査技師の養成が急務である。

平成 25 年医師臨床研修部会報告書によると、この数十年にわたり基礎医学系の大学院博士課程入学者に占める医師免許取得者の割合が低下していること（全基礎系大学院生の 20%代まで低下）、専門医取得に比べ博士号取得の志向は低調であること等から、研究に従事する教員確保や医学研究の質の低下を危惧する声が上がっている。実際、基礎医学系研究の現場では、主に理工系出身者が医師に取って代わっている。臨床検査技師は医学の教育をしっかり受けているため、基礎医学系研究を行う素養は十分に有している。そこで、今後大学において高度かつ先進的教育を行うことで、大学院へ進み修士や博士の学位を取得し、研究・教育職に就くような優秀な臨床検査技師を増やすことも急務である。

②臨床工学技士の必要性

平成 29 年医療施設（静態・動態）調査によると、病院及び一般診療所にて臨床工学技士として働いている人数は 28,000 名程度である（職種別にみた施設の常勤換算従事者数の表より）。一方、臨床工学技士の主要業務である人工透析を受けている患

者数は、日本透析医学会の統計調査によると、2018年12月31日末時点で339,841人となっており、人口100万人あたり透析患者数（有病率）は2640人で、国民378.8人に1人が透析患者であることになる。現状では、透析患者12名に対して1名の臨床工学技士が仕事をしている概算になるが、臨床現場では患者5名に対して1名程度の臨床工学技士が、つまり現在の約2倍以上の臨床工学技士が必要といわれている

（一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会 HP より）。また、「平成26年臨床工学技士に関する施設実態調査アンケート」では、2,173施設中141施設（6.5%）しか臨床工学士が当直をしていないと回答されている。これからも臨床工学士の勤務人数が少ないため当直体制がとれない実情が見て取れる。さらに、診療報酬制度における「特定集中治療室管理料」の施設基準では救急蘇生装置、人工呼吸器、心電図モニター、除細動器、ペースメーカー、呼吸循環監視装着等を常備し、重症度の基準を満たす患者が9割以上収容されている治療環境において臨床工学技士が常時、病院内に勤務することが条件として明記されている。

その他、高度医療の現場で臨床工学技士の常勤が必須とされる機器としては、持続血液透析濾過法、大動脈バルーンポンピング、経皮的心肺補助、人工肺、補助人工心臓、頭蓋内圧測定、動脈圧・中心静脈圧・肺動脈圧測定等の生体計測装置も含まれ、集中治療で救命を担う非常に重要な生命維持装置を管理操作する職責がある。

また、最近の手術は非侵襲的治療が高度化するなか臨床工学技士の注目されている業務として、インターベンション治療と内視鏡下手術がある。

インターベンション治療では、頻脈性不整脈を治すため心臓にカテーテルを挿入して患部を焼き切る処置（アブレーション）や、今までは開胸手術が当たり前であった心臓弁置換術でもカテーテルによる治療が適応され、いずれも手術関連機器には、臨床工学技士の係りは不可欠である。

内視鏡下手術では、非侵襲的治療の最先端技術とされ癌切除から移植手術まで幅広く応用され、臨床工学技士の重要性和必要性は、医師の技術支援から手術関連機器対応等で周知されている。

以上からも、医療機器が日々進歩する昨今において医療の知識と工学の知識の両方を有する臨床工学技士は、医療業務をおこなう上で不可欠な存在になっている。臨床工学技士の資格がなかった頃は、院内に出入りする医療機器の販売業者やメーカーに、機器の使用法や管理・保守点検を委ねていたが、平成20年4月1日施行の医療機器業公正取引協議会による「医療機関における立会いに関する基準」により医療機器メーカーおよび業者の医療機関への立入りが制限され、今では「Medical Engineer (ME) 室」の臨床工学技士がこれらの業務を行うようになった。さらに手術中や治療中の医師支援業務や患者支援も行っている。臨床工学技士の制度が施行されて30年余りと、歴史が浅いこともありまだまだ人材は不足しているが、チーム医療の一員として欠かせない医療職種として認められるようになってきた。

また、災害時における医療派遣チーム（DMAT）の一員としての臨床工学技士にもより一層の活躍が期待されている。昨今では、異常気象の影響により大きな災害も頻繁に起こるなか、緊急時や停電時の在宅における人工呼吸器、人工透析器、酸素治療装置などの生命維持に重要な医療機器を管理・操作できる資格を持つ臨床工学技士の需要は、今後さらに求められると予想される。

さらに、臨床工学技士が操作・管理を行う医療機器は、人工知能（AI）等の技術開発の加速により、より一層高度化し発展することが予測される。

これらの状況から、最新の臨床工学の知識・技術を有し、高度な医療機器を安全適正に操作対応できる人材の養成と、そのための教育環境の整備が求められている。

しかし、現状の臨床工学分野は、研究開発等の医療工学・生体工学分野での研究者、教育者を養成する環境は十分とは言えず、臨床工学士を養成する国立大学はなく、私立大学が 41 校、他は専門学校である。

医療人としての人材養成、教育者養成の観点から、臨床工学分野の人材養成基盤として、大学において高度かつ先進的教育を行う環境で大学院へ進み、研究・教育等の経験を十分に下積みし学位取得の上で、研究・教育職に就くような優秀な工学技士を養成することも重要で不可欠である。

③臨床検査学と臨床工学の両方の知識と技能を持った医療従事者の必要性

新設学部では、科目履修により臨床検査学と臨床工学の両方の知識・技能を学ぶことが可能なカリキュラムとなっている。少子高齢化・多死社会到来による医療従事者の減少、ますます高度化・複雑化する医療現場での医師・看護師不足が危惧される中、チーム医療の推進及び質の高い医療サービス提供を行うには、一人の医療従事者が幅広い知識を持つことが必要と考えられる。採血や検体検査・生理検査などさまざまな検査業務を行う「臨床検査学」と、現代医療に欠かせないハイテク医療機器の操作や管理などを行う「臨床工学」の 2 つの専門知識と技能を修得することにより、日々高度化する医療現場の最前線で、病気の予防や発見から診断・治療・手術・生命維持・先端医療まで、シームレスに活躍できる人材の養成が可能となり、より質の高い医療サービスの提供が可能となる。

臨床検査技師と臨床工学技士の領域は近く、代替可能な業務が多々ある。特に生体機能検査（臨床生理検査）は両領域に共通しており欠くことができない。実際に、平成 29 年度日本臨床衛生検査技師会会員施設実態調査によると、臨床検査技師の担当業務の比率は臨床生理検査が 17.1%と最も高い（資料 5）。また、臨床検査技師が保有している他の国家資格としては臨床工学技士が 25.5%と最も多い（資料 5）。2018 年 3 月の日本麻酔科学会「術中運動誘発電位（motor evoked potentials : MEP）モニタリングガイドライン作成に向けたアンケート調査結果報告書」では、「MEP の術中モニター（刺激や記録）は誰がしていますか？」の問いに、脊椎脊髄手術の場合は臨床検査技師が 28%、臨床工学技士が 24%、脳外科手術の場合は臨床検査技師が

41%、臨床工学技士が 25%、大血管手術の場合は臨床検査技師が 22%、臨床工学技士が 26%と両資格に差はない。また、日本臨床工学技士会による「平成 26 年臨床工学技士に関する施設実態調査アンケート」によると、臨床工学技士が「超音波診断装置を使用したバスキュラー アクセス関連の業務を行っていますか？」の問いに対し、行っているとの回答が 44.1%（有効回答数：903 施設中 398 施設）であり、臨床工学技士が本来は臨床検査技師が操作する超音波診断装置を活用している。よって、臨床検査学と臨床工学を同時に学ぶことは効率的かつ効果的と考える。

臨床検査技師の職域では、検査機器の高度化や Artificial Intelligence (AI) や Internet of Things (IoT) の導入により検体検査業務は効率化するが、検査結果の解析・報告業務や検査機器管理業務は増えると考えられる。そこで、検査機器管理業務には臨床工学の知識、技術が必要となる。また、病院内で欠かせない「医療機器安全管理責任者」は臨床工学技士が 68.2%と最も多いが（日本臨床工学技士会による「平成 26 年臨床工学技士に関する施設実態調査アンケート」）、同様に検査機器を扱う臨床検査技師も医療機器安全管理責任者としての業務を行うことが求められ、そのためには臨床工学技士の知識が必要である。

臨床工学技士の職域では、手術室、集中治療室、透析室などで医療機器の操作、管理をするのみならず、患者管理において医師を補佐する業務が増えている。特に手術室や集中治療室では臨床検査技師が行える心電図、超音波検査等の知識・技術が必要となっている。また、透析機器安全管理業務では、診療報酬「透析液水質確保加算」取得のため、透析液の細菌培養、エンドトキシン測定が日常的に行われており、細菌検査に関する臨床検査学の知識・技術が必要とされている。

現在「地域包括ケアシステム」構築の一環として在宅医療が推進されている。在宅医療の現場では、臨床検査技師は呼吸機能評価、採血業務、検体採取（喀痰、鼻腔拭い液など）を行っている。また、臨床工学技士は、在宅酸素療法の支援、在宅呼吸器、在宅吸引器、在宅透析や腹膜透析、ペースメーカーや埋め込み型除細動器の管理・調整を行っている。臨床検査技師と臨床工学技士の二つの資格を持った医療人を養成することで、在宅医療現場における人材不足にも対応することが可能となる。

以上の通り、臨床検査学と臨床工学のふたつの知識と技能を持った医療専門職者は、病気の発見、診断、治療及び手術、生命の維持まで、あらゆる場面でより高度な専門性を発揮することができ、さらにチーム医療の推進及び医療安全上のリスクの早期発見と減少につながる。

しかしながら、本学の人材の養成に関する目的は、安易に臨床検査技師と臨床工学技士のふたつの国家資格取得を前提とするものではなく、各々の資格に要求される教育水準を確実に達成することが重要である。新設学部では、学生全員にふたつの国家資格取得を必修とするものではなく、相応の資質を持った学生が選択科目履修により同時取得を目指すことも可能とするカリキュラムである。大学 4 年間の教育は、国家

試験のみを目指した知識偏重の教育であってはならず、医療人を養成するための総合的な教育を行うことを教育研究上の目的としている。

次に、医療技術学部医療技術学科設置にあたり、地域的な人材需要の動向を踏まえるため、臨床検査技師、臨床工学技士の採用ニーズに関する調査を行うため、第三者機関による受容性調査を行った。調査の概要と結果は以下のとおりである。（資料6）

①受容性調査の目的

令和3年4月に開設を予定している群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）の新設計画に伴い、該当学科の卒業生の就職先として想定される病院等へ本計画に対する関心度及び現在の採用状況を尋ね、社会的ニーズを把握し、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

②調査期間

2019年12月

③調査対象・地域

関東・中部エリアに所在する病院・診療所等 671 箇所

④調査方法

郵送アンケート調査

⑤回収状況

69 件（回収率 10.3%）無回答は集計対象外とした。

⑥調査結果の概要

1) 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材の人数（問4）

臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材が「いる」と回答した病院等に、それぞれの人数を尋ねたところ、臨床検査技師・臨床工学技士のいずれにおいても「11～20名」の割合が最も高かった。なお、臨床検査技師では、1施設あたり「51名以上」在籍している病院等が 11.8%である。

2) 昨年度の臨床検査技師及び臨床工学技士の採用人数（問5）

問4で臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材が「いる」と回答した病院等に、昨年度採用した臨床検査技師及び臨床工学技士の人数を尋ねた。すると、臨床検査技師・臨床工学技士のいずれも「1～4名」がもっとも高く、それぞれ 63.2%、47.0%となった。なお、臨床検査技師では、昨年だけで「10名以上」採用している病院等が 7.4%あることがわかった。また規模別にみると、臨床検査技師では、従業員 500 名以上の病院等では 80%以上が昨年度採用を行っており、うち 10.6%が「10名以上」採用している。500 名未満においても、50%以上が臨床検査技師の採用をしている。また、臨床工学技士においては、従業員 500 名以上の病院等では 54.3%が昨年度採用を行っており、500 名未満においても、55%が臨床工学技士の採用をしている。

3) 採用の際、重視するもの（問6）

人材を採用する際に重視するものとしては、「チームで働くための協調性」と「コミュニケーション能力」の2つが90%を超えており、非常に高い。次いで、「心身の健康」「社会人としての礼儀やマナー」が70%台で続いた。これは本学の教育方針が社会のニーズに対応していることの裏付けとなる。

4) 本学医療技術学部医療技術学科（仮称）の特徴で魅力的だと思うもの（問7）

本学が設置を計画している「医療技術学部医療技術学科（仮称）」で特徴としている学びについて、魅力的だと思うものを尋ねた。最も高かったのは、「他学部との交流によるチーム医療を学べるカリキュラム」であり、83.6%であった。問6の人材採用時の重視点においても、「チームで働くための協調性」が最も高く、チームという点が重視されていることが、ここからもよくわかる。前述のとおり、本学では多職種による円滑なケアが展開できるための基礎的知識・技術・態度について学び多職種連携のあり方を修得することをねらいとした、他学部・学科との学生間の交流を通しての教育を実践しており、医療現場が求める人材の養成につながると考えられる。

5) 本学が設置を計画する臨床検査技師及び臨床工学技士の社会的必要性（問8）

本学が設置を計画する臨床検査技師と臨床工学技士養成について、「社会的必要性が高い分野である」との回答が67.2%を占めた。「まあまあ社会的必要性を感じる分野である」と合わせると、社会的必要性が高いとの回答はほぼ100%となる。

6) 本学医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生への採用動向（問9）

本学の「医療技術学部医療技術学科（仮称）」卒業生への採用意向を尋ねたところ、「採用したい」が32.3%、「採用を検討したい」が66.2%だった。これらの病院等に対し、毎年何人採用したいかを尋ねたところ、「人数は未定」が79.7%、毎年「1人」が7.8%、毎年「2人」が10.9%、毎年「3人」が1.6%であった。

これらの結果から、回答を得た全69件から無回答を除いた67件のうち、問8で臨床検査技師と臨床工学技士の養成について、「社会的必要性が高い分野である」と回答したのは45件（全体の67.2%）、「まあまあ社会的必要性を感じる分野である」と回答したのは20件（全体の29.9%）。合わせて65件（全体の97.1%）が臨床検査技師と臨床工学技士養成について社会的必要性を感じていることがわかった。また、全69件から無回答を除いた67件のうち、問9で本学卒業生を「採用したい」と回答したのは21件（全体の32.3%）、「採用を検討したい」と回答したのは43件（全体の66.2%）。合わせて64件（全体の98.5%）が本学卒業生への採用に積極的であることがわかった。人材需要の動向や医療現場が期待する人材像を踏まえ、社会の要請に応えることのできる医療人を養成したいと考えている。

受容性調査において、本学医療技術学部医療技術学科（仮称）の卒業生を「採用したい」「採用を検討したい」と回答した病院等（64件）のうち、問10の採用想

定人数における採用予定人数 1 人が 5 施設、2 人が 7 施設、3 人が 1 施設、未定が 51 施設であり、未定施設の採用数を最低人数の 1 人と仮定しても、合計して回答をいただいた件数だけでも最低 73 人以上の採用が見込まれる。

アンケート回答件数が 69 件と少なくなってしまったが、回答をいただいた 69 件のうち実に 64 件（約 92.8%）は「採用したい」「採用を検討したい」と回答してくださっており、単純にこの割合（約 92.8%）を未回答の病院等やそもそもアンケートを送付していない病院等にそのまま充てることはできないとしても、1 学年定員 80 人に対する不足分（7 人）を補うには十分な病院・企業等がアンケートに回答いただいた 69 件以外に存在すると考えている。

アンケート送付先として、病院については近隣の関東甲信越地域に限定し、原則として病床数 100 床以上で臨床検査技師・臨床工学技士が採用されているところに限定して 671 施設を選択して送付し、回答数は 69 施設（10.3%）という結果だった。回答いただけなかった施設が 602 施設あり、さらに病床数 100 床以下でも臨床検査技師・臨床工学技士が在職する施設は多数あると考えられるほか、地域を関東甲信越以外にも広げれば、さらに潜在的な施設数は増え、定員 80 人に対する採用枠は十分にあると判断している。

また、臨床検査技師及び臨床工学技士それぞれの採用想定数については、添付資料の職業分類作業部会報告 I 【独立行政法人労働政策研究・研修機構】（資料 7）による臨床工学技士（26 頁）と臨床検査技師（27 頁）に掲載された新規求人数と新規求職数（厚生労働省提供の 2017 年度資料により作成）によると 臨床検査技師は 6434 人の新規求職者に対して 11144 人の新規求人数があり、実に 4710 人の不足、臨床工学技士も 1784 人の新規求職者に対して 2350 人の新規求人数があり、566 人の不足となっている。この人材不足の状況は現在も改善されていないと考えられ、それを裏付けるデータとして、KJB 臨床検査技師人材バンクと MEJB 臨床工学技士人材バンクの求人数の直近のデータ（令和 2 年 8 月 18 日現在）を調べると、近隣の関東甲信越地域だけでも臨床検査技師は 1419 人、臨床工学技士は 479 人の求人が出されている（次表参照）。このようなことから臨床検査技師・臨床工学技士ともに定員の 80 人を大きく超える採用を想定できるうえ、両資格の技術・知識を兼ね備えた医療専門職者は、チーム医療を推進する医療現場において有為な人材として、今後ますます需要が増すと考えている。

表 KJB 臨床検査技師人材バンク求人数と MEJB 臨床工学技士人材バンク求人数

臨床検査技師の求人状況 (8/18)
(KJB 臨床検査技師人材バンク)

<https://www.jinzaibank.com/kjb/>

都道府県名	件数
茨城	89
栃木	36
群馬	46
埼玉	199
千葉	145
東京	532
神奈川	281
新潟	34
山梨	12
長野	45
合計	1419

臨床工学技士の求人状況 (8/18)
(MEJB 臨床工学技士人材バンク)

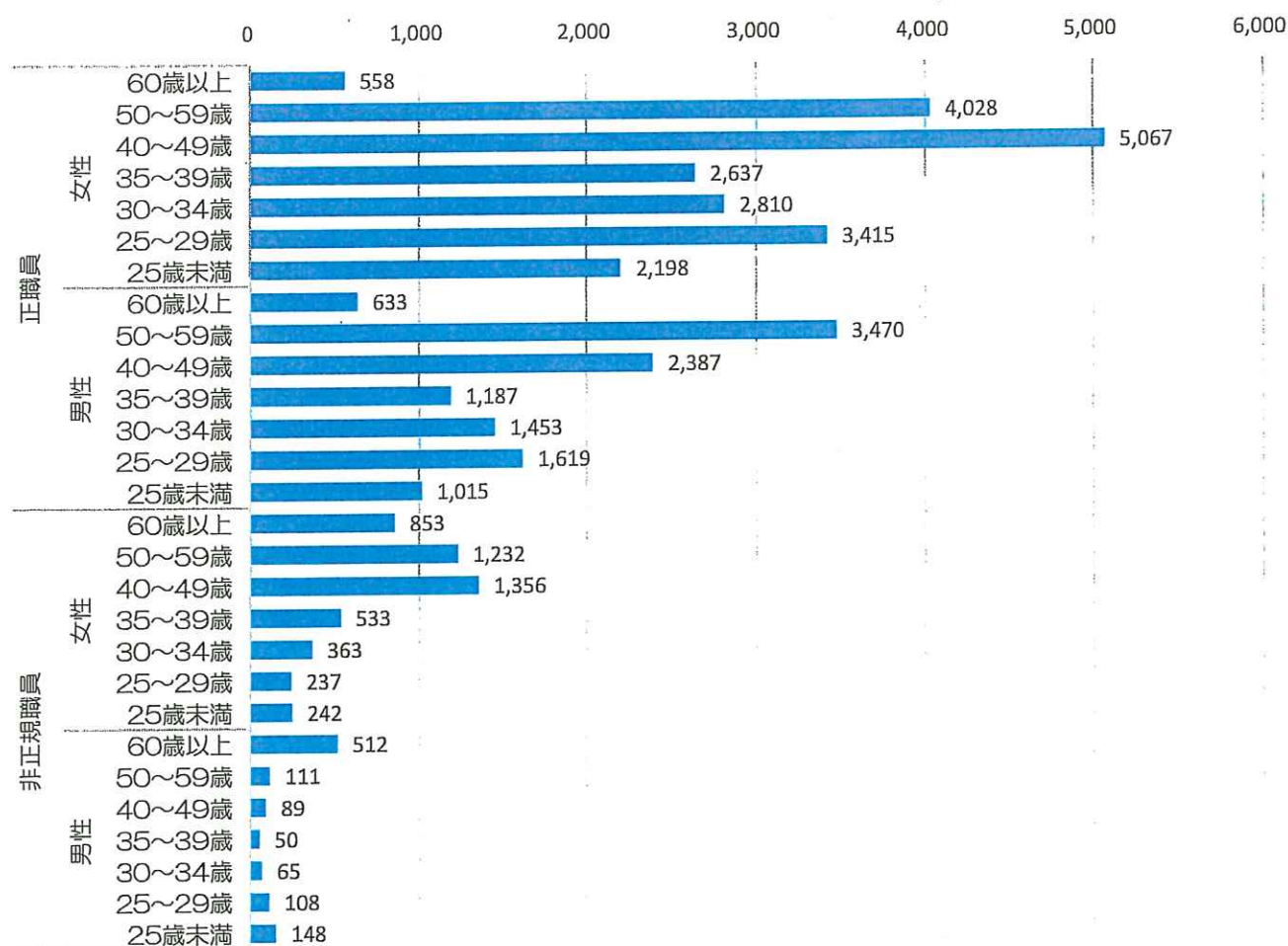
<https://www.jinzaibank.com/mejb/>

都道府県名	件数
茨城	39
栃木	32
群馬	22
埼玉	76
千葉	56
東京	164
神奈川	65
新潟	7
山梨	5
長野	13
合計	479

(添付資料) 「資料 7 職業分類作業部会報告 I 【独立行政法人労働政策研究・研修機構】」

F 臨床検査技師数の内訳①

3,258名の全回答者数のうち、未回答者を除いた集計結果



区分1	区分2	年齢	人数
正職員	男性	25歳未満	1,015
		25～29歳	1,619
		30～34歳	1,453
		35～39歳	1,187
		40～49歳	2,387
		50～59歳	3,470
		60歳以上	633
	女性	25歳未満	2,198
		25～29歳	3,415
		30～34歳	2,810
		35～39歳	2,637
		40～49歳	5,067
		50～59歳	4,028
		60歳以上	558

計： 32,477

区分1	区分2	年齢	人数
非正規職員	男性	25歳未満	148
		25～29歳	108
		30～34歳	65
		35～39歳	50
		40～49歳	89
		50～59歳	111
		60歳以上	512
	女性	25歳未満	242
		25～29歳	237
		30～34歳	363
		35～39歳	533
		40～49歳	1,356
		50～59歳	1,232
		60歳以上	853

計： 5,899

回答された施設の正職員の年齢層で一番多いのは男性が50～59歳、女性が40～49歳であった。非正規職員は男性が60歳以上、女性は40～49歳が一番多い構成であった。

表 34 職種別にみた施設の常勤換算従事者数

(単位:人)

平成29(2017)年10月1日現在

		病 院				一般診療所	歯科診療所
		総数	精神科病院 (再掲)	一般病院 (再掲)	医育機関 (再掲)		
	総 数	2 090 967.5	167 147.3	1 923 820.2	212 837.1	708 306.8	325 046.5
1	医 師	217 567.4	9 086.1	208 481.3	48 526.4	135 605.7	202.2
2	常 勤 ¹⁾	172 192	6 652	165 540	39 810	102 960	74
3	非 常 勤	45 375.4	2 434.1	42 941.3	8 716.4	32 645.7	128.2
4	歯 科 医 師	9 825.1	133.1	9 692.0	6 441.7	2 088.2	97 980.7
5	常 勤 ¹⁾	7 705	65	7 640	5 027	1 297	84 729
6	非 常 勤	2 120.1	68.1	2 052.0	1 414.7	791.2	13 251.7
7	薬 剤 師	49 782.8	2 936.8	46 846.0	6 363.4	4 297.6	481.6
8	保 健 師	5 658.5	114.5	5 544.0	376.8	8 111.2	...
9	助 産 師	22 881.7	2.0	22 879.7	3 513.5	7 661.3	...
10	看 護 師	805 708.0	55 670.7	750 037.3	91 887.3	138 019.7	741.8
11	准 看 護 師	113 496.5	26 035.4	87 461.1	275.0	87 909.7	202.0
12	看護業務補助者	175 234.8	25 758.2	149 476.6	6 320.8	19 152.1	...
13	理学療法士(P.T)	78 439.0	233.8	78 205.2	2 303.0	13 255.8	...
14	作業療法士(O.T)	45 164.9	6 775.7	38 389.2	995.9	2 687.1	...
15	視 能 訓 練 士	4 320.5	12.0	4 308.5	870.7	4 568.6	...
16	言 語 聴 覚 士	15 781.0	59.2	15 721.8	607.5	858.2	...
17	義 肢 装 具 士	61.6	-	61.6	-	43.7	...
18	歯 科 衛 生 士	5 970.9	148.4	5 822.5	1 174.7	1 627.8	111 262.5
19	常 勤 ¹⁾	...	...	...	...	...	82 495
20	非 常 勤	...	...	...	...	...	28 767.5
21	歯 科 技 工 士	661.9	5.3	656.6	321.0	189.1	9 880.5
22	常 勤 ¹⁾	...	...	...	...	...	8 968
23	非 常 勤	...	...	...	...	...	912.5
24	歯 科 業 務 補 助 者	...	...	...	...	...	70 226.2
25	診療放射線技師	44 755.4	563.6	44 191.8	5 355.1	9 457.7	...
26	診療エックス線技師	105.5	5.9	99.6	-	1 103.0	...
27	臨床検査技師	54 960.2	953.5	54 006.7	7 673.3	11 905.8	...
28	衛生検査技師	76.5	0.2	76.3	17.4	350.7	...
29	臨床工学技士	21 184.3	12.2	21 172.1	2 303.5	6 859.1	...
30	あん摩マッサージ指圧師	1 229.5	16.6	1 212.9	15.8	2 379.0	...
31	柔道整復師	486.4	2.0	484.4	-	3 617.5	...
32	管理栄養士	22 430.0	2 231.4	20 198.6	1 303.0	4 192.9	...
33	栄 養 士	4 717.3	836.5	3 880.8	182.0	1 694.6	...
34	精神保健福祉士	9 822.4	6 892.0	2 930.4	206.4	1 708.3	...
35	社 会 福 祉 士	12 966.6	67.0	12 899.6	542.1	1 323.8	...
36	介 護 福 祉 士	45 197.1	3 124.8	42 072.3	95.4	15 022.0	...
37	保 育 士	7 238.8	368.4	6 870.4	186.3	1 359.9	...
38	その他の技術員	18 916.6	2 365.3	16 551.3	1 909.5	6 972.6	...
39	医療社会事業従事者	4 774.5	257.4	4 517.1	346.2	1 137.8	...
40	事 務 職 員	218 004.0	11 618.1	206 385.9	18 853.0	173 292.2	26 931.3
41	そ の 他 の 職 員	73 547.8	10 861.2	62 686.6	3 870.4	39 854.1	7 137.7

注: 1) 医師、歯科医師、歯科衛生士及び歯科技工士の「常勤」は実人員である。

2) 病院の従事者数は、従事者数不詳を除く。

群馬医療福祉大学
医療技術学部医療技術学科(仮称)
受容性調査結果報告書
＜高校生向け＞

株式会社日本ドリコム
2020 年 1 月

もくじ

1. 学生確保に関する調査概要	2
(1) 調査・目的.....	2
(2) 調査期間.....	2
(3) 調査対象・地域.....	2
(4) 調査方法.....	2
(5) 回収状況.....	2
(6) 本報告書について.....	2
(7) 協力校一覧（56校）.....	3
2. 回答者属性	4
(1) 性別.....	4
(2) 通っている高校の所在地（都道府県）.....	4
(3) 所属コース.....	4
3. 高校卒業後の進路選択や興味・関心	6
(1) 高校卒業後の進路として検討しているもの.....	6
(2) 高校卒業後の進学希望エリア（進学希望者のみ）.....	9
(3) 興味・関心のある学問分野.....	12
(4) 興味・関心のある職業.....	16
4. 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）について	20
(1) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への興味・関心.....	20
(2) 臨床検査技師及び臨床工学技士国家資格取得への興味.....	22
(3) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への進学意向.....	25
(4) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へ進学したい理由.....	27
5. まとめ	30
6. 調査票	31

1. 学生確保に関する調査概要

(1) 調査・目的

本調査は、群馬医療福祉大学 医療技術学部医療技術学科（仮称）の新設計画に伴い、具体的に受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行うことで入学志願者の分析を行い、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査期間

2019 年 11 月～12 月

(3) 調査対象・地域

東北・関東・中部エリアの高等学校に在籍する現役高校 2 年生 5,856 名

(4) 調査方法

郵送アンケート調査

(5) 回収状況

5,144 件（回収率 87.8%）

(6) 本報告書について

次ページより、貴学の名称は群馬医療福祉大学もしくは「本学」と表記している。
なお、無回答は集計対象外とした。

(7) 協力校一覧 (56 校)

都道府県	高等学校名
秋田県	秋田北高等学校/湯沢高等学校
山形県	山本学園高等学校/東桜学館高等学校
福島県	福島成蹊高等学校/須賀川桐陽高等学校/あさか開成高等学校
茨城県	古河第一高等学校/東海高等学校/つくば国際大学東風高等学校
栃木県	茂木高等学校/壬生高等学校/上三川高等学校
群馬県	群馬県立前橋高等学校/前橋工業高等学校/前橋市立前橋高等学校/共愛学園高等学校/前橋育英高等学校/高崎東高等学校/高崎女子高等学校/高崎工業高等学校/高崎商業高等学校/高崎健康福祉大学高崎高等学校/高崎商科大学附属高等学校/東京農業大学第二高等学校/桐生女子高等学校/桐生市立商業高等学校/桐生第一高等学校/樹徳高等学校/伊勢崎商業高等学校/伊勢崎清明高等学校/群馬県立伊勢崎高等学校/伊勢崎興陽高等学校/太田東高等学校/沼田女子高等学校/関東学園大学附属高等学校/渋川工業高等学校/藤岡中央高等学校/富岡実業高等学校/新島学園高等学校/嬬恋高等学校
埼玉県	本庄高等学校/本庄第一高等学校/埼玉県立深谷高等学校/東京成徳大学深谷高等学校/正智深谷高等学校
新潟県	新潟清心女子高等学校/関根学園高等学校/新井高等学校/村上高等学校
長野県	篠ノ井高等学校/上田千曲高等学校/上田学園上田西高等学校/伊那西高等学校/岩村田高等学校/佐久長聖高等学校

2. 回答者属性

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	5,133	100.0
男子	2,321	45.2
女子	2,659	51.8
その他（答えたくない）	153	3.0

(2) 通っている高校の所在地（都道府県）

問2 あなたの通っている高校の所在地（都道府県）について教えてください。右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	5,136	100.0
群馬県	3,163	61.6
埼玉県	389	7.6
新潟県	364	7.1
長野県	327	6.4
秋田県	189	3.7
茨城県	157	3.1
栃木県	125	2.4
福島県	105	2.0
山形県	90	1.8
その他	227	4.4

(3) 所属コース

問3 あなたが所属している（もしくは所属しようとしている）コースについて教えてください。以下の項目からいずれかひとつを右の囲み欄に数字をご記入ください。

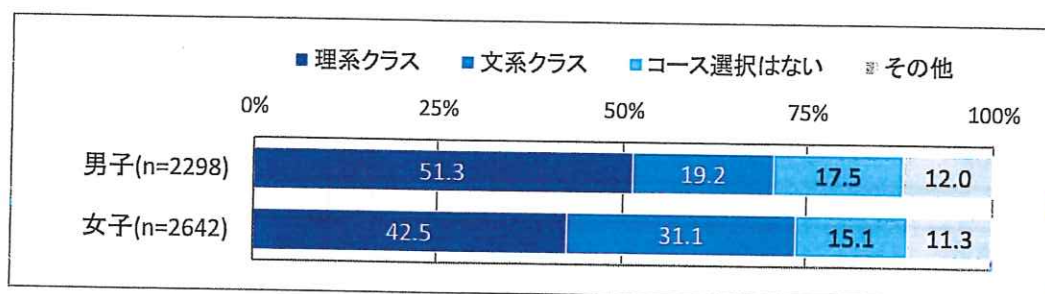
	件数	%
全 体	5,097	100.0
理系クラス	2,377	46.6
文系クラス	1,301	25.5
コース選択はない	826	16.2
その他	593	11.6

● クロス集計（男女別）

男女別にクロス集計をした結果、男子で「理系クラス」の割合が高く、51.3%と半数以上。「文系クラス」は20%未満であった。一方、女子では「理系クラス」が42.5%、「文系クラス」が31.1%。

【男女別】

		全 体	理 系 ク ラ ス	文 系 ク ラ ス	な い コ ー ス 選 択 は	そ の 他
男子	件	2,298	1,179	441	402	276
	%	100.0	51.3	19.2	17.5	12.0
女子	件	2,642	1,123	821	400	298
	%	100.0	42.5	31.1	15.1	11.3
その他（答えたくない）	件	152	73	37	23	19
	%	100.0	48.0	24.3	15.1	12.5



※「その他（答えたくない）」はグラフ上は割愛した。

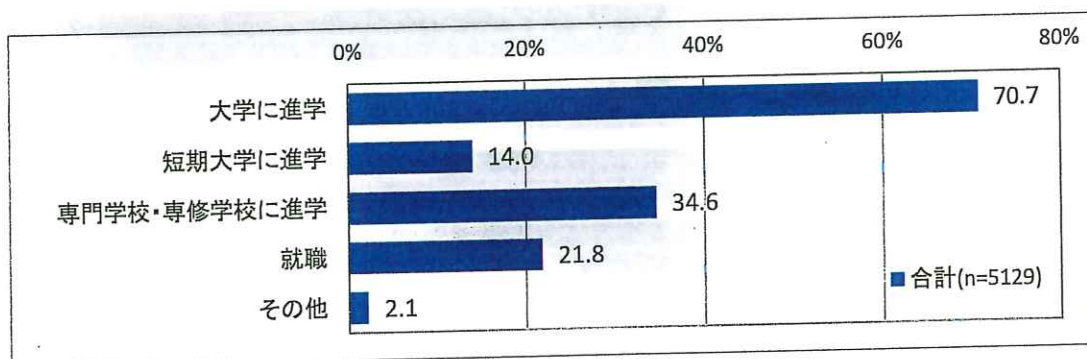
3. 高校卒業後の進路選択や興味・関心

(1) 高校卒業後の進路として検討しているもの

現高校2年生に対し、卒業後の進路を尋ねたところ、最も割合が高かったのは「大学に進学」で70.7%に上る。次が「専門学校・専修学校に進学」で34.6%。

問4 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか？ 以下の項目からあてはまるものすべてを右の囲み欄に数字をご記入ください。	件数	%
全 体	5,129	100.0
大学に進学	3,624	70.7
短期大学に進学	716	14.0
専門学校・専修学校に進学	1,777	34.6
就職	1,120	21.8
その他	107	2.1

※「その他」・・・「留学」「未定」「悩んでいる」など。



● 参考：高等学校卒業者の進路状況 高等学校卒業後の状況 一部抜粋

令和元年度学校基本調査より 高等学校卒業者の進路状況 高等学校卒業後の状況（一部抜粋）	人数	%
全 体	1,056,494	100.0
大学（学部）進学者	527,776	50.0
短期大学進学者	50,993	4.8
専門学校進学者	172,376	16.3
就職者	185,667	17.6

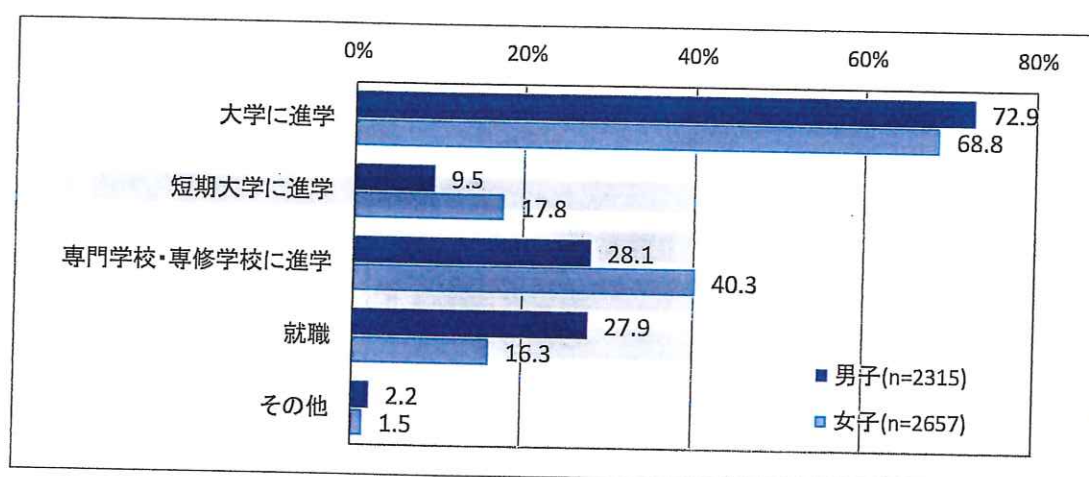
※短期大学入学者＝大学・短期大学進学者－うち大学（学部）進学者で算出した。いずれにも当てはまらない者がいるため、割合合計は100%にはならない。他結果は文部科学省「令和元年度学校基本調査」を参照のこと。

● クロス集計（男女別）

男女別では、いずれにおいても「大学に進学」検討割合は約 70%。また、女子では「専門学校・専修学校に進学」が約 40%と高い。

【男女別】

		全 体	大 学 に 進 学	学 短 期 大 学 に 進	修 専 門 学 校 ・ 専 修 学 校 に 進 学	就 職	そ の 他
男子	件	2,315	1,688	221	651	646	51
	%	100.0	72.9	9.5	28.1	27.9	2.2
女子	件	2,657	1,827	473	1072	432	40
	%	100.0	68.8	17.8	40.3	16.3	1.5
その他（答えたくない）	件	152	104	21	52	42	16
	%	100.0	68.4	13.8	34.2	27.6	10.5

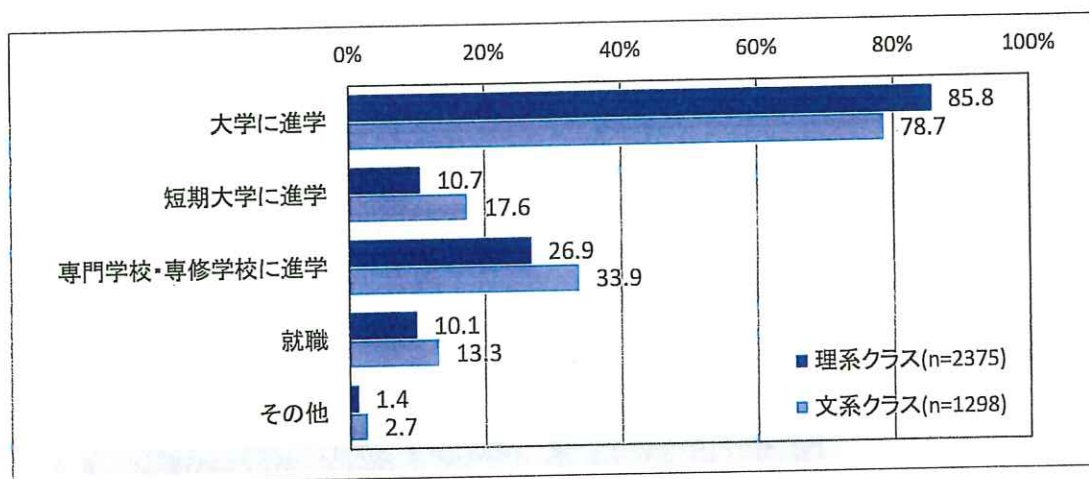


※「その他（答えたくない）」は、グラフ上では割愛した。

● クロス集計（所属コース別）

所属コースにみると、理系クラスにおいて「大学に進学」を検討している割合が85.8%に上る。また、文系クラスでも78.7%であった。

【所属コース別】		全 体	大学 に進学	学 短期 大学に 進	修 専門 学校・ 専修 学校に 進学	就 職	そ の 他
理系コース	件	2,375	2,038	254	638	239	33
	%	100.0	85.8	10.7	26.9	10.1	1.4
文系コース	件	1,298	1,022	229	440	172	35
	%	100.0	78.7	17.6	33.9	13.3	2.7
コース選択なし・ その他	件	1,415	547	225	677	695	37
	%	100.0	38.7	15.9	47.8	49.1	2.6



※「コース選択なし・その他」は、グラフ上では割愛した。

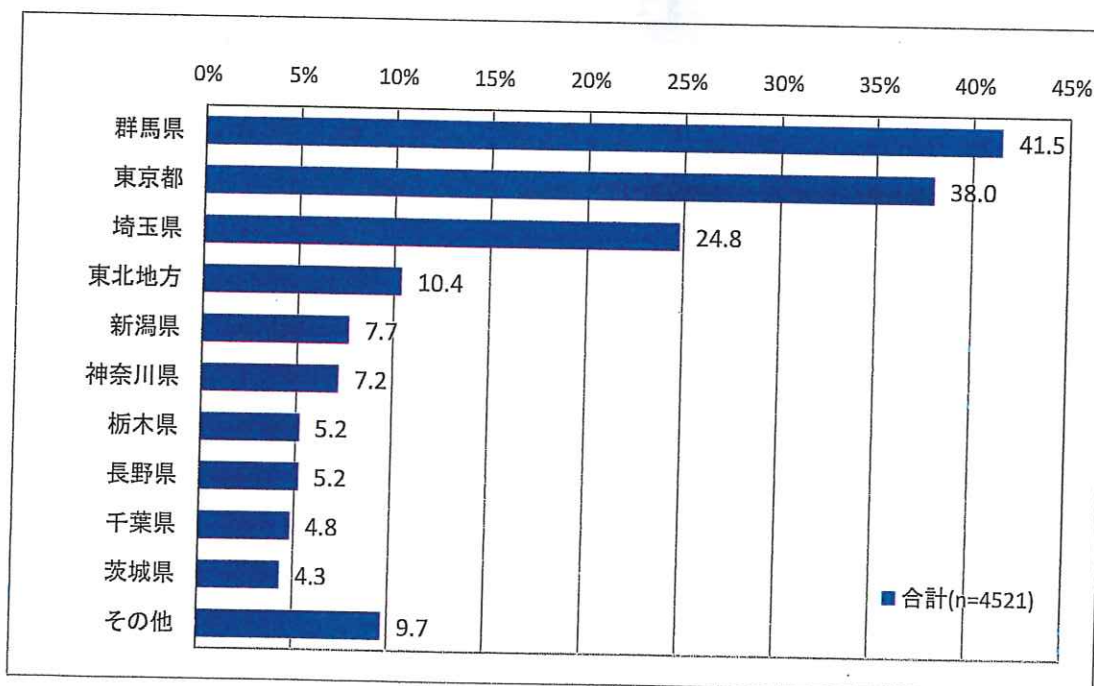
(2) 高校卒業後の進学希望エリア（進学希望者のみ）

問4において、大学・短期大学・専門学校・専修学校への進学を検討していると回答した高校2年生に対し、進学を希望する地域を尋ねたところ、「群馬県」が最も高く、41.5%だった。次が「東京都」で、38.0%である。高校生への進学希望エリアとしては、この2都県がよく検討されていることがわかる。

問5 問4において、「1.大学」「2.短期大学」「3.専門学校・専修学校」に進学を選んだ方に質問します。あなたは卒業後の進路についてどのような地域に進学を希望していますか？ 以下の項目から2つまで選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	4,521	100.0
群馬県	1,876	41.5
東京都	1,717	38.0
埼玉県	1,121	24.8
東北地方	471	10.4
新潟県	348	7.7
神奈川県	325	7.2
栃木県	236	5.2
長野県	236	5.2
千葉県	215	4.8
茨城県	196	4.3
その他	437	9.7

※「その他」…「どこでも」「海外」「未定」など。

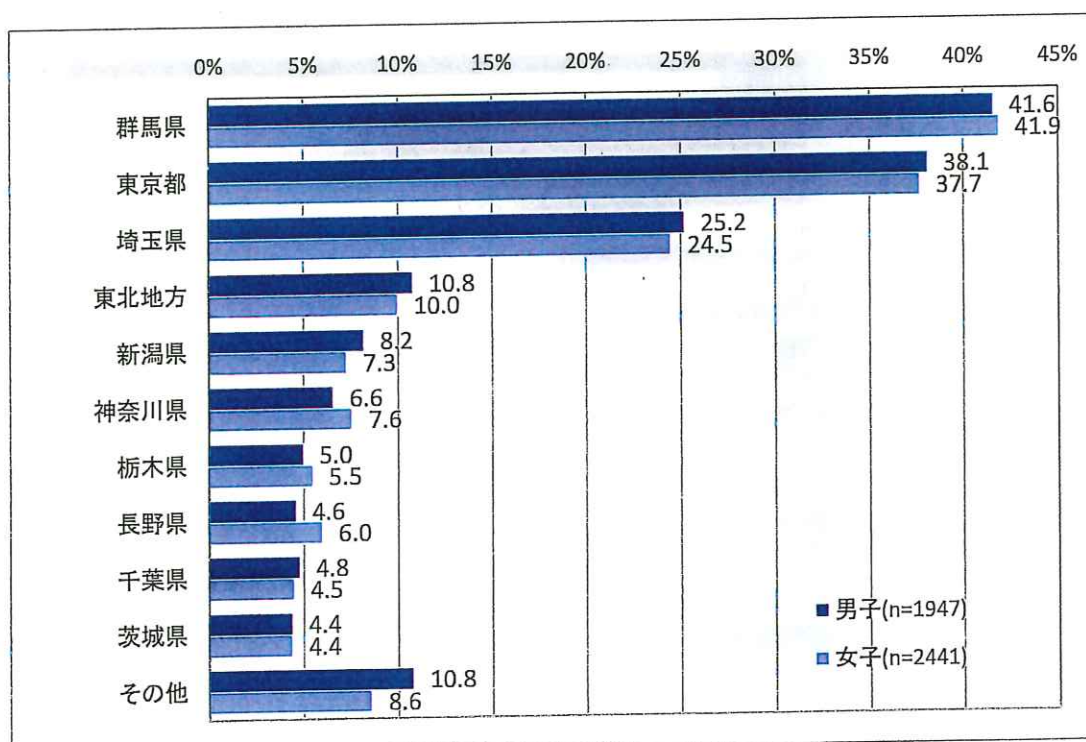


●クロス集計（男女別）

男女別にみても、1位が「群馬県」、2位が「東京都」という結果に変化なし。

【男女別】		全 体	群 馬 県	東 京 都	埼 玉 県	東 北 地 方	新 潟 県	神 奈 川 県
男子	件	1,947	810	741	491	210	160	128
	%	100.0	41.6	38.1	25.2	10.8	8.2	6.6
女子	件	2,441	1022	920	598	245	177	185
	%	100.0	41.9	37.7	24.5	10.0	7.3	7.6
その他 (答えたくない)	件	128	42	56	30	15	9	11
	%	100.0	32.8	43.8	23.4	11.7	7.0	8.6

栃 木 県	長 野 県	千 葉 県	茨 城 県	そ の 他
98	89	94	85	210
5.0	4.6	4.8	4.4	10.8
134	146	111	107	211
5.5	6.0	4.5	4.4	8.6
4	1	10	4	15
3.1	0.8	7.8	3.1	11.7



※「その他(答えたくない)」は、グラフ上では割愛した。

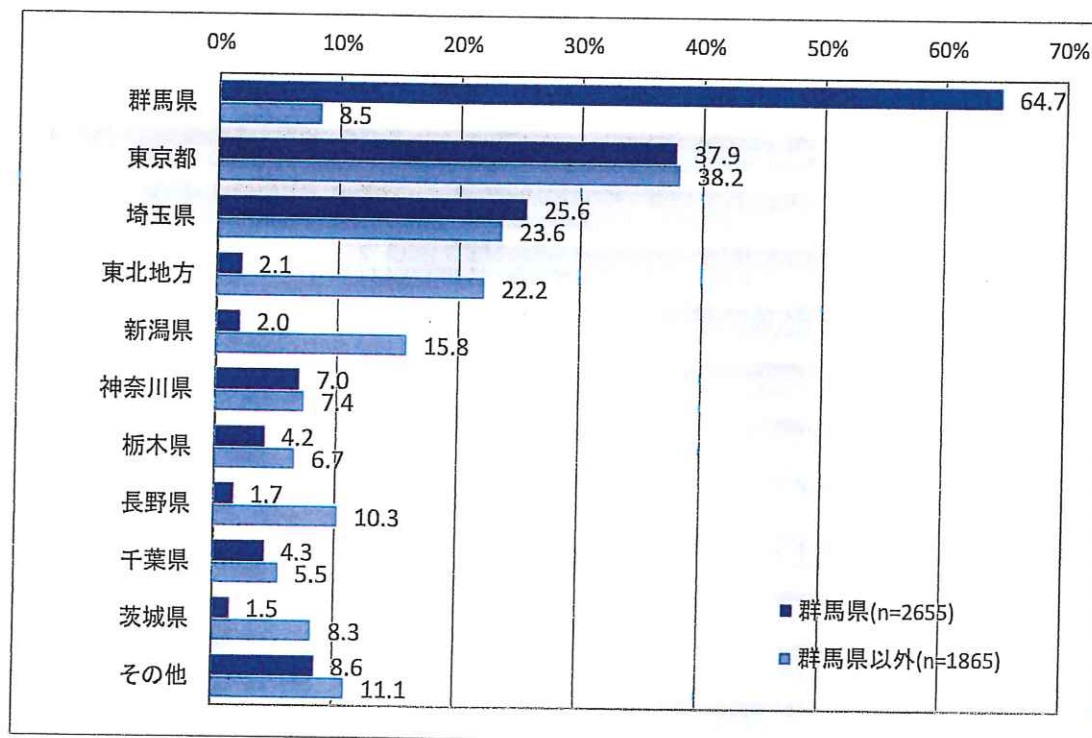
●クロス集計（高校の所在地別）

高校の所在地（都道府県）別にみると、群馬県に所在する高等学校に通う高校2年生において、「群馬県」希望が非常に高い（64.7%）。群馬県での、県内進学意向の高さがうかがえる結果である。

【高校の所在地別】

		全 体	群 馬 県	東 京 都	埼 玉 県	東 北 地 方	新 潟 県	神 奈 川 県
群馬県	件	2,655	1,718	1,005	681	57	54	187
	%	100.0	64.7	37.9	25.6	2.1	2.0	7.0
群馬県以外	件	1,865	158	712	440	414	294	138
	%	100.0	8.5	38.2	23.6	22.2	15.8	7.4

栃 木 県	長 野 県	千 葉 県	茨 城 県	そ の 他
111	44	113	41	229
4.2	1.7	4.3	1.5	8.6
125	192	102	155	207
6.7	10.3	5.5	8.3	11.1

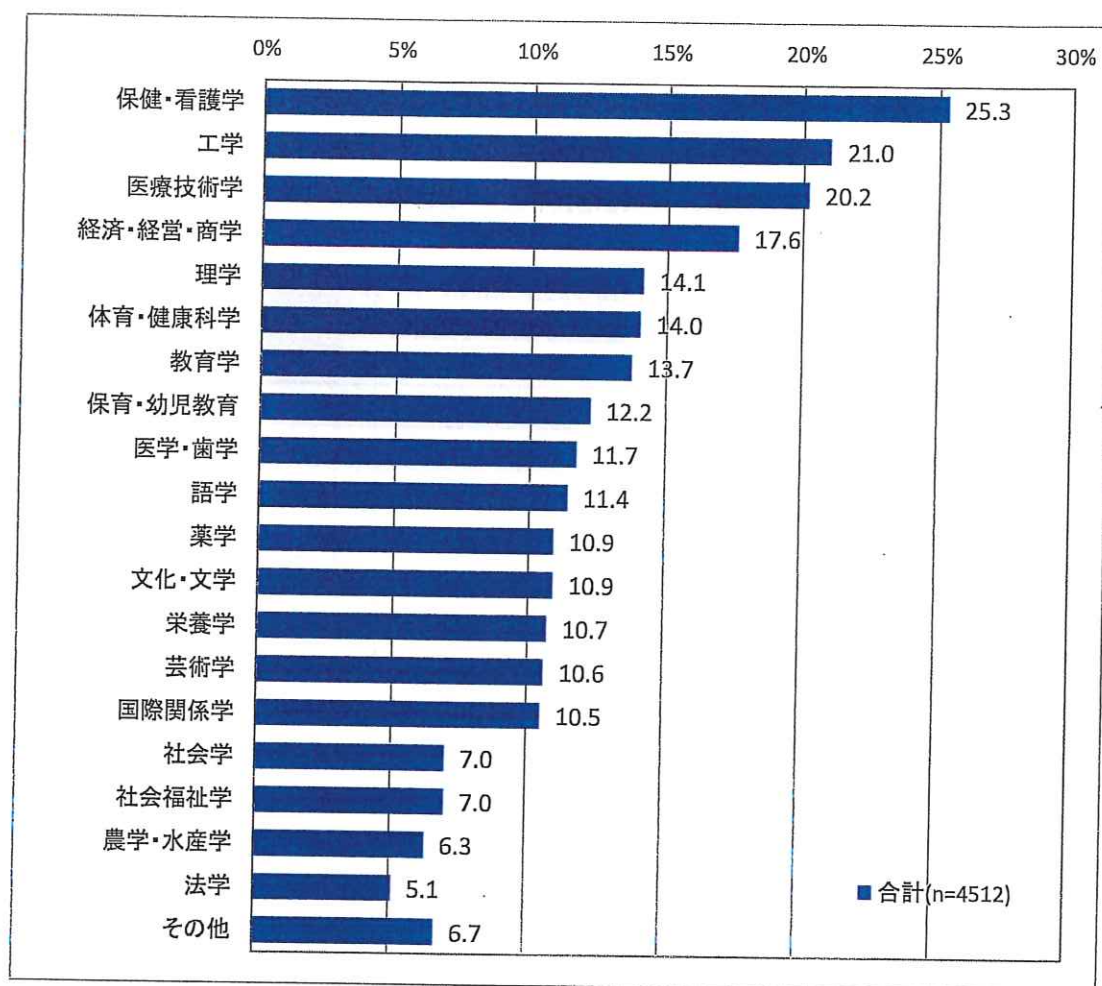


(3) 興味・関心のある学問分野

大学・短期大学・専門学校・専修学校のいずれかを進学先として検討している高校2年生に対し、興味・関心のある学問を尋ねた。最も高いのは、「保健・看護学」で25.3%、次が「工学」21.0%、「医療技術学」20.2%となっている。

問6 あなたはどのような学問に興味・関心がありますか？ 以下の項目から興味・関心がある学問すべてを右の囲み欄に数字をご記入ください。		
	件数	%
全 体	4,512	100.0
保健・看護学	1,143	25.3
工学	947	21.0
医療技術学	913	20.2
経済・経営・商学	792	17.6
理学	635	14.1
体育・健康科学	630	14.0
教育学	619	13.7
保育・幼児教育	551	12.2
医学・歯学	527	11.7
語学	513	11.4
薬学	493	10.9
文化・文学	492	10.9
栄養学	481	10.7
芸術学	480	10.6
国際関係学	473	10.5
社会学	316	7.0
社会福祉学	314	7.0
農学・水産学	285	6.3
法学	228	5.1
その他	303	6.7

※「その他」・・・「美容」「服飾・ファッション」「ブライダル」「調理・製菓」「建築」「観光」など。



●クロス集計（男女別）

男女別にみると、男子で最も高いのは「工学」38.9%、女子では「保健・看護学」36.3%。なお、本学が設置を検討している学科に関連する「医療技術学」は、男女ともに約20%が興味・関心ありと回答した。

【男女別】		全 体	学 保 健・ 看護	工 学	医 療 技 術 学	営 経 ・ 済 ・ 商 学	理 学	科 体 学 育 ・ 健 康	教 育 学
男子	件	1,939	234	754	385	449	448	375	272
	%	100.0	12.1	38.9	19.9	23.2	23.1	19.3	14.0
女子	件	2,441	886	156	504	317	161	231	329
	%	100.0	36.3	6.4	20.6	13.0	6.6	9.5	13.5
その他 (答えたくない)	件	127	22	36	22	26	24	21	16
	%	100.0	17.3	28.3	17.3	20.5	18.9	16.5	12.6

教 育 保 育 ・ 幼 児	医 学 ・ 歯 学	語 学	薬 学	文 化 ・ 文 学	栄 養 学	芸 術 学
93 4.8	197 10.2	141 7.3	179 9.2	177 9.1	92 4.7	151 7.8
444 18.2	312 12.8	353 14.5	293 12.0	293 12.0	370 15.2	311 12.7
13 10.2	17 13.4	19 15.0	21 16.5	22 17.3	18 14.2	18 14.2

国 際 関 係 学	社 会 学	社 会 福 祉 学	学 農 ・ 学 ・ 水 産	法 学	そ の 他
118 6.1	149 7.7	77 4.0	140 7.2	139 7.2	117 6.0
338 13.8	155 6.3	227 9.3	131 5.4	80 3.3	167 6.8
17 13.4	12 9.4	9 7.1	14 11.0	9 7.1	19 15.0

●クロス集計（所属コース別）

所属コース別にみると、理系クラスにおいて高いのは、「保健・看護学」「工学」「医療技術学」の3つで、約30%。一方、文系クラスにおいては「経済・経営・商学」「文化・文学」の2つが30%弱だった。

【所属コース別】

		全 体	学 保 健・ 看護	工 学	医 療 技 術 学	営 経 ・ 済 ・ 商 学	理 学	科 体 学 育 ・ 健 康	教 育 学
理系クラス	件	2,261	718	734	619	222	549	299	270
	%	100.0	31.8	32.5	27.4	9.8	24.3	13.2	11.9
文系クラス	件	1,230	159	39	104	341	17	191	241
	%	100.0	12.9	3.2	8.5	27.7	1.4	15.5	19.6
コース選択なし・ その他	件	990	258	170	184	225	66	132	105
	%	100.0	26.1	17.2	18.6	22.7	6.7	13.3	10.6

教 育 ・ 幼 児	医 学 ・ 歯 学	語 学	薬 学	文 化 ・ 文 学	栄 養 学	芸 術 学
168	366	116	396	77	242	160
7.4	16.2	5.1	17.5	3.4	10.7	7.1
205	60	307	39	337	132	189
16.7	4.9	25.0	3.2	27.4	10.7	15.4
175	94	89	57	77	103	130
17.7	9.5	9.0	5.8	7.8	10.4	13.1

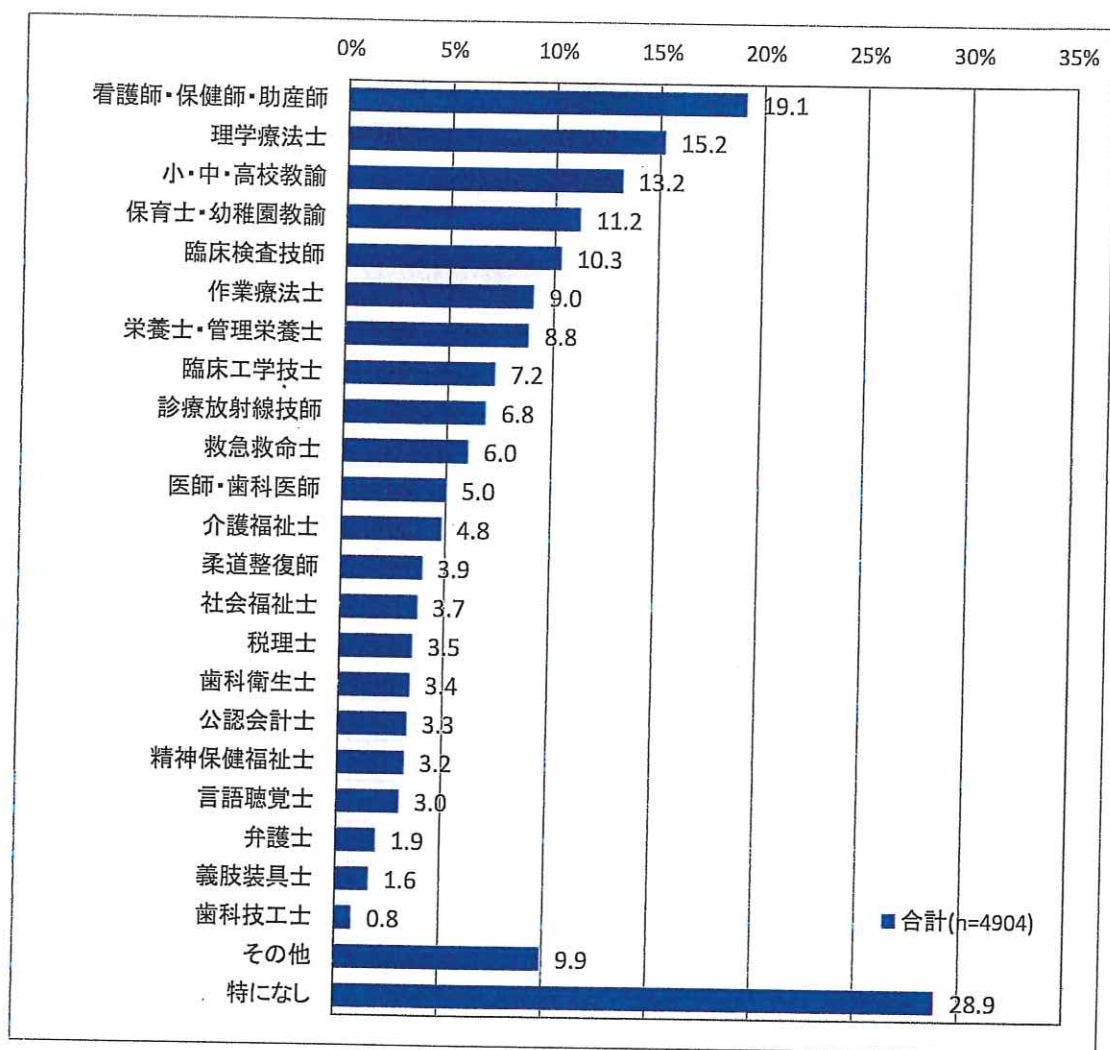
国 際 関 係 学	社 会 学	社 会 福 祉 学	学 農 ・ 学 ・ 水 産	法 学	そ の 他
120	66	97	211	62	105
5.3	2.9	4.3	9.3	2.7	4.6
282	200	130	34	128	82
22.9	16.3	10.6	2.8	10.4	6.7
71	50	85	39	38	116
7.2	5.1	8.6	3.9	3.8	11.7

(4) 興味・関心のある職業

全高校2年生に対し、興味のある職業について尋ねたところ、最も高かったのは「看護師・保健師・助産師」であり、約20%。次が「理学療法士」「小・中・高校教諭」「保育士・幼稚園教諭」「臨床検査技師」と続く。

問7 あなたは以下の職業に興味がありますか？ <u>興味がある職業すべてを右の囲み欄に数字をご記入ください。</u>	件数	%
全 体	4,904	100.0
看護師・保健師・助産師	939	19.1
理学療法士	746	15.2
小・中・高校教諭	645	13.2
保育士・幼稚園教諭	548	11.2
臨床検査技師	505	10.3
作業療法士	441	9.0
栄養士・管理栄養士	430	8.8
臨床工学技士	354	7.2
診療放射線技師	333	6.8
救急救命士	295	6.0
医師・歯科医師	245	5.0
介護福祉士	234	4.8
柔道整復師	190	3.9
社会福祉士	182	3.7
税理士	174	3.5
歯科衛生士	168	3.4
公認会計士	160	3.3
精神保健福祉士	156	3.2
言語聴覚士	149	3.0
弁護士	95	1.9
義肢装具士	79	1.6
歯科技工士	38	0.8
その他	486	9.9
特になし	1,416	28.9

※「その他」・・・「公務員」「事務職系」「消防士」「自動車整備士」「建築士」「薬剤師」「美容師」「ウェディングプランナー」「デザイナー・ファッション系」「システムエンジニア」「パティシエ」「ゲームクリエイター」など。



●クロス集計（男女別）

男女別に10%を超えているものをそれぞれ挙げると、男子では「理学療法士」「小・中・高校教諭」、女子では「看護師・保健師・助産師」「理学療法士」「小・中・高校教諭」「保育士・幼稚園教諭」「臨床検査技師」「栄養士・管理栄養士」「その他」。

【男女別】		全体	看護師・保健師・助産師	理学療法士	小・中・高校教諭	保育士・幼稚園教諭	臨床検査技師	作業療法士	栄養士・管理栄養士	臨床工学技士
男子	件	2,182	121	370	324	84	190	198	62	203
	%	100.0	5.5	17.0	14.8	3.8	8.7	9.1	2.8	9.3
女子	件	2,576	799	355	301	450	302	228	353	135
	%	100.0	31.0	13.8	11.7	17.5	11.7	8.9	13.7	5.2
その他（答えたくない）	件	141	18	19	17	14	12	14	14	16
	%	100.0	12.8	13.5	12.1	9.9	8.5	9.9	9.9	11.3

技師	診療放射線	救急救命士	師 医師・歯科医	介護福祉士	柔道整復師	社会福祉士	税理士	歯科衛生士
125	144	97	71	128	46	106	19	
5.7	6.6	4.4	3.3	5.9	2.1	4.9	0.9	
202	139	138	156	51	125	60	145	
7.8	5.4	5.4	6.1	2.0	4.9	2.3	5.6	
6	12	9	7	10	10	8	4	
4.3	8.5	6.4	5.0	7.1	7.1	5.7	2.8	

公認会計士	社士 精神保健福祉士	言語聴覚士	弁護士	義肢装具士	歯科技工士	その他	特になし
91	33	27	58	45	14	211	829
4.2	1.5	1.2	2.7	2.1	0.6	9.7	38.0
62	116	114	31	29	23	258	533
2.4	4.5	4.4	1.2	1.1	0.9	10.0	20.7
7	6	8	6	5	1	17	54
5.0	4.3	5.7	4.3	3.5	0.7	12.1	38.3

● クロス集計（所属コース別）

所属コース別に 10%を超えているものをそれぞれ挙げると、理系クラスでは「看護師・保健師・助産師」「理学療法士」「小・中・高校教諭」「臨床検査技師」「作業療法士」「臨床工学技士」「診療放射線技師」、文系クラスでは「看護師・保健師・助産師」「小・中・高校教諭」「保育士・幼稚園教諭」。

【所属コース別】		全体	看護師・保健師・助産師	理学療法士	小・中・高校教諭	保育士・幼稚園教諭	臨床検査技師	作業療法士	栄養士・管理栄養士	臨床工学技士
理系クラス	件	2,293	560	473	318	157	370	257	208	242
	%	100.0	24.4	20.6	13.9	6.8	16.1	11.2	9.1	10.6
文系クラス	件	1,253	130	103	230	204	54	76	116	39
	%	100.0	10.4	8.2	18.4	16.3	4.3	6.1	9.3	3.1
コース選択なし・その他	件	1,321	240	166	94	183	76	106	104	69
	%	100.0	18.2	12.6	7.1	13.9	5.8	8.0	7.9	5.2

診療放射線技師	救急救命士	医師・歯科医師	介護福祉士	柔道整復師	社会福祉士	税理士	歯科衛生士
266 11.6	153 6.7	186 8.1	78 3.4	82 3.6	58 2.5	51 2.2	67 2.9
23 1.8	57 4.5	25 2.0	60 4.8	41 3.3	68 5.4	54 4.3	44 3.5
41 3.1	85 6.4	34 2.6	94 7.1	63 4.8	54 4.1	69 5.2	56 4.2

公認会計士	精神保健福祉士	言語聴覚士	弁護士	義肢装具士	歯科技工士	その他	特になし
47 2.0	66 2.9	57 2.5	37 1.6	52 2.3	26 1.1	236 10.3	538 23.5
41 3.3	53 4.2	43 3.4	35 2.8	6 0.5	6 0.5	111 8.9	430 34.3
72 5.5	37 2.8	48 3.6	23 1.7	21 1.6	5 0.4	136 10.3	436 33.0

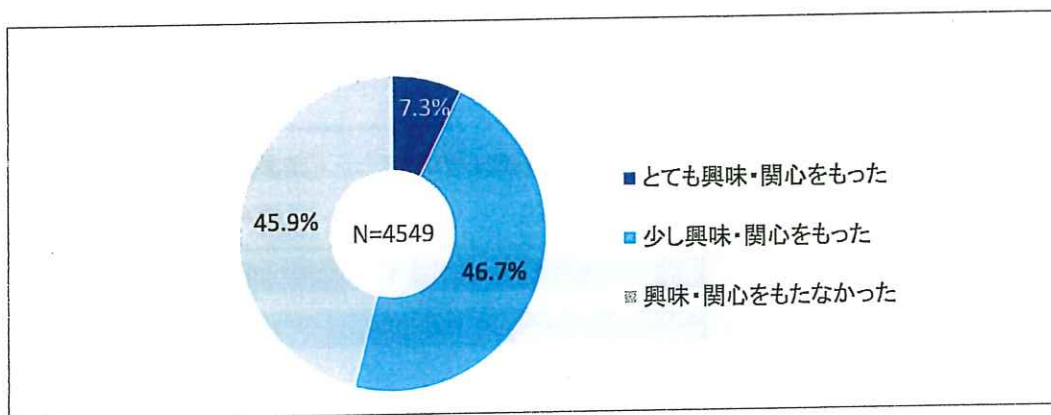
4. 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）について

(1) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への興味・関心

大学・短期大学・専門学校・専修学校のいずれかを進学先として検討している高校2年生に対し、本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への興味・関心を尋ねた。すると、「とても興味・関心をもった」が7.3%、「少し興味・関心をもった」が46.7%と、興味・関心あり層が54.0%。過半数を超える結果となった。

問8 群馬医療福祉大学では、学生の選択により臨床検査技師と臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能なカリキュラムを検討しています。群馬医療福祉大学「医療技術学部医療技術学科（仮称）」に興味・関心をもちましたか？ 以下の項目からいずれかひとつを右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	4,549	100.0
とても興味・関心をもった	333	7.3
少し興味・関心をもった	2,126	46.7
興味・関心をもたなかった	2,090	45.9

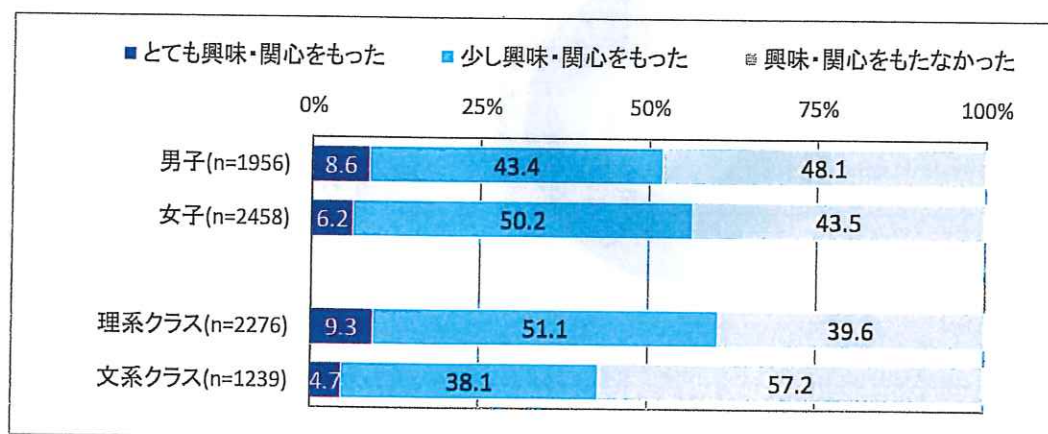


● クロス集計（男女別・所属コース別）

男女いずれにおいても、興味・関心ありの割合が 50%以上である。また、所属コース別にみると、理系クラスの約 60%が本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に対して興味・関心があると回答した。

【男女別・所属コース別】

			全 体	と と も 興 味 ・ 関 心 を も っ た	少 し 興 味 ・ 関 心 を も っ た	興 味 ・ 関 心 を も た な か っ た
男 女 別	男子	件	1,956	168	848	940
		%	100.0	8.6	43.4	48.1
	女子	件	2,458	153	1,235	1,070
		%	100.0	6.2	50.2	43.5
	その他（答えたくない）	件	130	11	42	77
		%	100.0	8.5	32.3	59.2
所 属 コ ー ス 別	理系クラス	件	2,276	211	1,164	901
		%	100.0	9.3	51.1	39.6
	文系クラス	件	1,239	58	472	709
		%	100.0	4.7	38.1	57.2
	コース選択なし・その他	件	1,001	60	473	468
		%	100.0	6.0	47.3	46.8



※男女別の「その他（答えたくない）」、所属コース別の「コース選択なし・その他」は、グラフ上では割愛した。

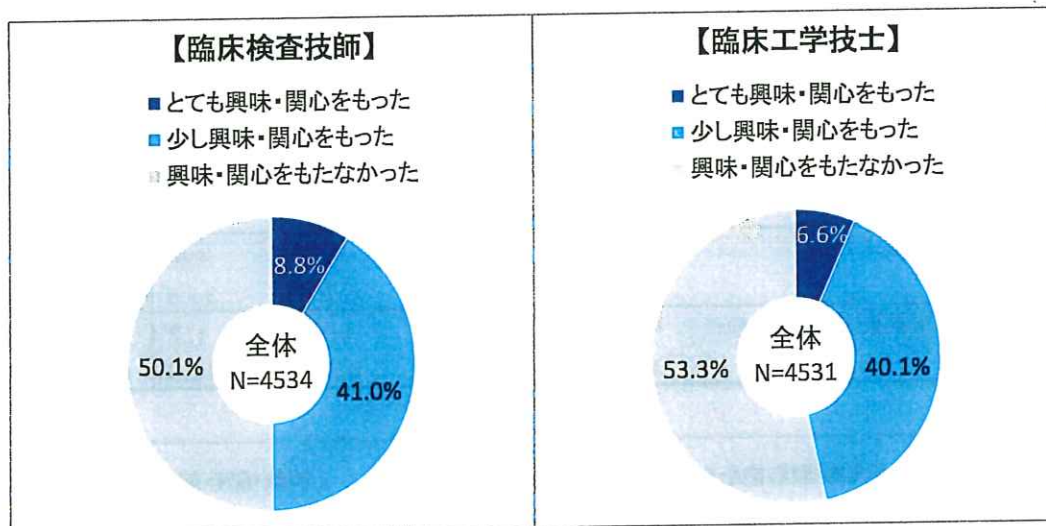
(2) 臨床検査技師及び臨床工学技士国家資格取得への興味

臨床検査技師の国家資格取得について、「とても興味・関心をもった」と回答した高校2年生が8.8%、「少し興味・関心をもった」は41.0%であり、興味・関心あり層は49.8%。

また、臨床工学技士では「とても興味・関心をもった」6.6%、「少し興味・関心をもった」が40.1%。興味・関心あり層は46.7%であった。

問9 あなたは、臨床検査技師と臨床工学技士国家資格の取得について、興味を感じますか。各資格について、それぞれ右の囲み欄に数字をご記入ください。

	【臨床検査技師】		【臨床工学技士】	
	件数	%	件数	%
全 体	4,534	100.0	4,531	100.0
とても興味・関心をもった	400	8.8	301	6.6
少し興味・関心をもった	1,861	41.0	1,817	40.1
興味・関心をもたなかった	2,273	50.1	2,413	53.3



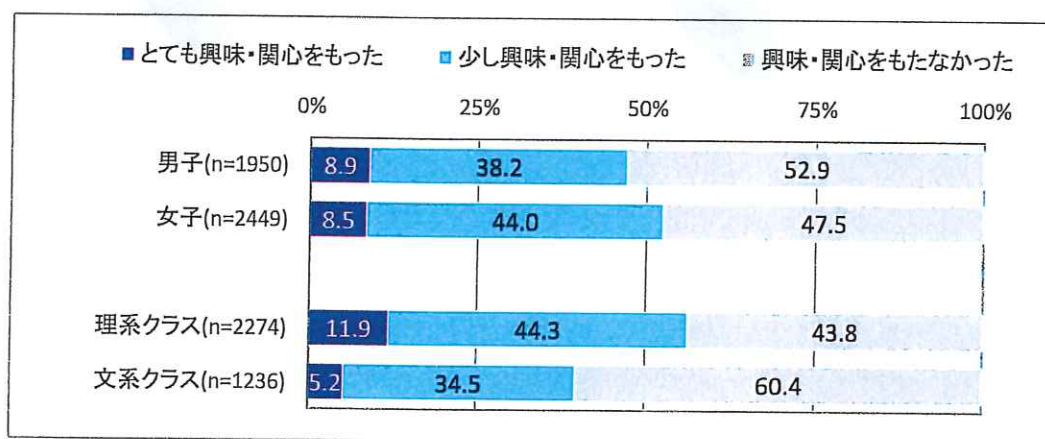
● 臨床検査技師 国家資格取得への興味のクロス集計（男女別・所属コース別）

臨床検査技師 国家資格取得への興味・関心を男女別にみると、「とても興味・関心をもった」割合には差がないものの、「少し興味・関心をもった」は女子の方が高く、女子の興味・関心あり層が50%を超えた。

また、所属コース別では、理系クラスにおいて「とても興味・関心をもった」が11.9%、「少し興味・関心をもった」が44.3%。計56.2%が臨床検査技師の国家資格取得へ興味を示している。

【男女別・所属コース別】

			全 体	と て も 興 味 ・ 関 心 を も っ た	少 し 興 味 ・ 関 心 を も っ た	興 味 ・ 関 心 を も た な か っ た
男 女 別	男子	件	1,950	174	744	1,032
		%	100.0	8.9	38.2	52.9
	女子	件	2,449	208	1,078	1,163
		%	100.0	8.5	44.0	47.5
	その他（答えたくない）	件	130	17	39	74
		%	100.0	13.1	30.0	56.9
所 属 コ ー ス 別	理系クラス	件	2,274	270	1,007	997
		%	100.0	11.9	44.3	43.8
	文系クラス	件	1,236	64	426	746
		%	100.0	5.2	34.5	60.4
	コース選択なし・その他	件	991	62	412	517
		%	100.0	6.3	41.6	52.2



※男女別の「その他（答えたくない）」、所属コース別の「コース選択なし・その他」は、グラフ上では割愛した。

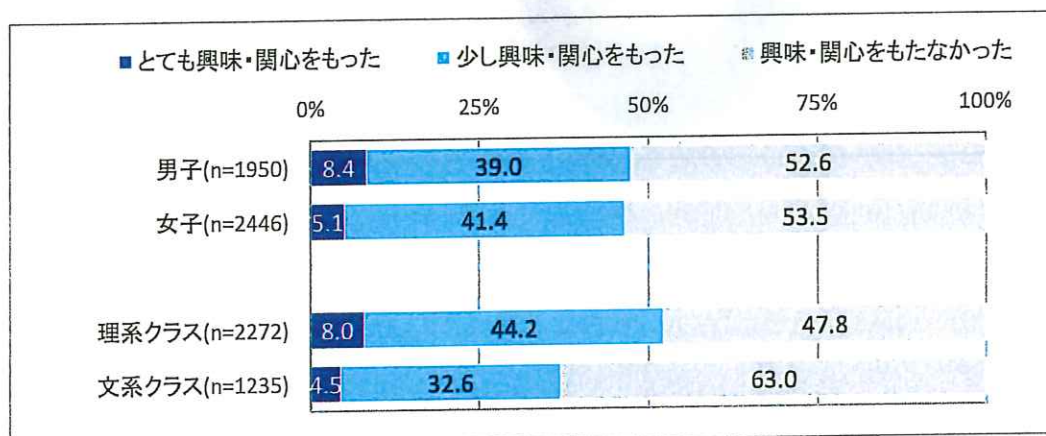
● 臨床工学技士 国家資格取得への興味のクロス集計（男女別・所属コース別）

臨床検査技師 国家資格取得への興味・関心を男女別にみると、男子の方が「とても興味・関心をもった」割合が高く、8.4%。

また、所属コース別では、理系クラスにおいて「とても興味・関心をもった」が8.0%、「少し興味・関心をもった」が44.2%。計52.2%が臨床工学技士の国家資格取得へ興味を示している。

【男女別・所属コース別】

			全 体	と て も 興 味 ・ 関 心 を も っ た	少 し 興 味 ・ 関 心 を も っ た	興 味 ・ 関 心 を も た な か っ た
男 女 別	男子	件	1,950	163	761	1,026
		%	100.0	8.4	39.0	52.6
	女子	件	2,446	124	1,013	1,309
		%	100.0	5.1	41.4	53.5
	その他（答えたくない）	件	130	14	43	73
		%	100.0	10.8	33.1	56.2
所 属 コ ー ス 別	理系クラス	件	2,272	182	1,004	1,086
		%	100.0	8.0	44.2	47.8
	文系クラス	件	1,235	55	402	778
		%	100.0	4.5	32.6	63.0
	コース選択なし・その他	件	991	60	395	536
		%	100.0	6.1	39.9	54.1



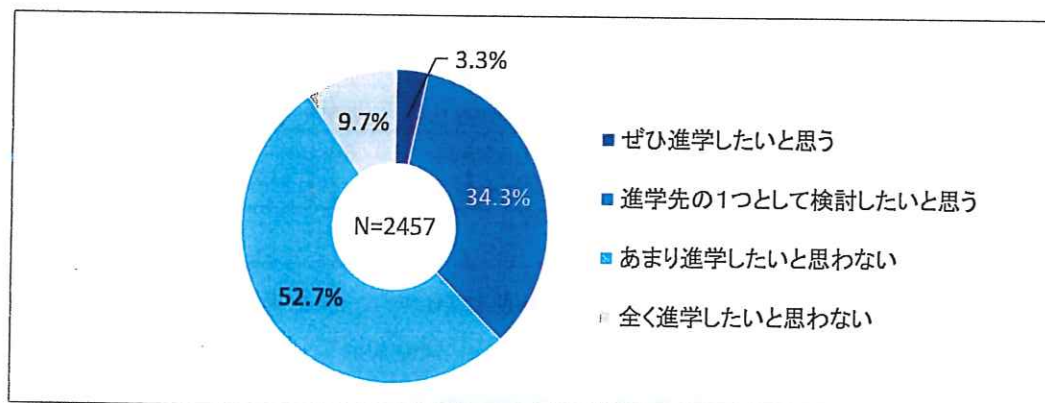
※男女別の「その他（答えたくない）」、所属コース別の「コース選択なし・その他」は、グラフ上では割愛した。

(3) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）への進学意向

大学・短期大学・専門学校・専修学校のいずれかを進学先として検討しており、問8で本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に「とても興味・関心をもった」「少し興味・関心をもった」と回答した高校2年生に対し、本学への進学意向を尋ねたところ、「ぜひ進学したいと思う」が81名3.3%であった。「進学先の1つとして検討したいと思う」は842名34.3%であり、計923名37.6%の高校2年生が本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へ進学したい・進学先の1つとして検討したいという意向を持っていることがわかった。

問10 あなたは、群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）に進学したいと思いますか？ いずれかひとつを右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	2,457	100.0
ぜひ進学したいと思う	81	3.3
進学先の1つとして検討したいと思う	842	34.3
あまり進学したいと思わない	1,296	52.7
全く進学したいと思わない	238	9.7



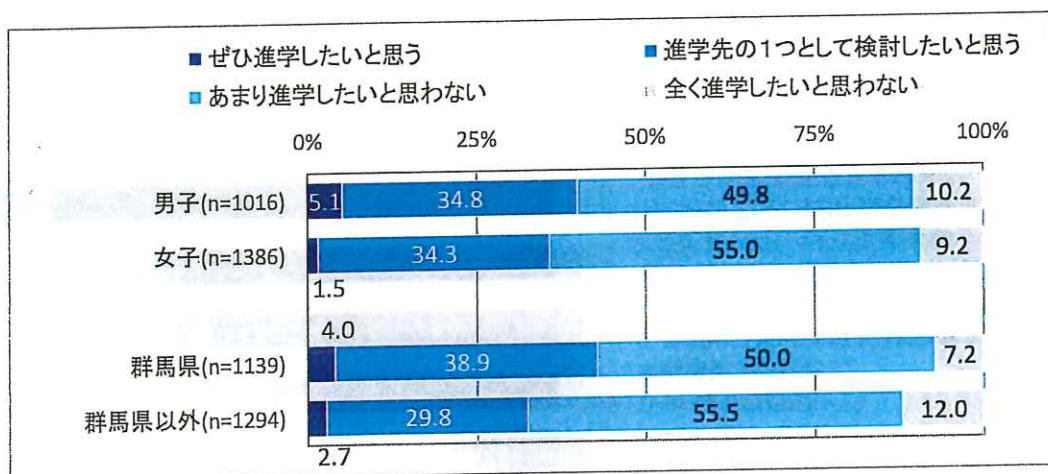
● クロス集計（男女別・進学希望エリア別）

男女別では、「ぜひ進学したいと思う」割合は、女子よりも男子の方が高い。

また、進学を希望するエリアが群馬県かそれ以外かでみると、群馬県に進学したい高校2年生の方において「ぜひ進学したいと思う」「進学先の1つとして検討したいと思う」の割合が高く、合わせると42.9%に上った。

【男女別・進学希望エリア別】

			全 体	う ぜ ひ 進 学 し た い と 思 う	進 学 先 の 1 つ と し て 検 討 し た い と 思 う	あ ま り 進 学 し た い と 思 わ ない	全 く 進 学 し た い と 思 わ ない
男 女 別	男子	件	1,016	52	354	506	104
		%	100.0	5.1	34.8	49.8	10.2
	女子	件	1,386	21	476	762	127
		%	100.0	1.5	34.3	55.0	9.2
	その他（答えたくない）	件	53	8	11	27	7
		%	100.0	15.1	20.8	50.9	13.2
エ リ ア 別	群馬県	件	1,139	45	443	569	82
		%	100.0	4.0	38.9	50.0	7.2
	群馬県以外	件	1,294	35	386	718	155
		%	100.0	2.7	29.8	55.5	12.0



※男女別の「その他（答えたくない）」は、グラフ上では割愛した。

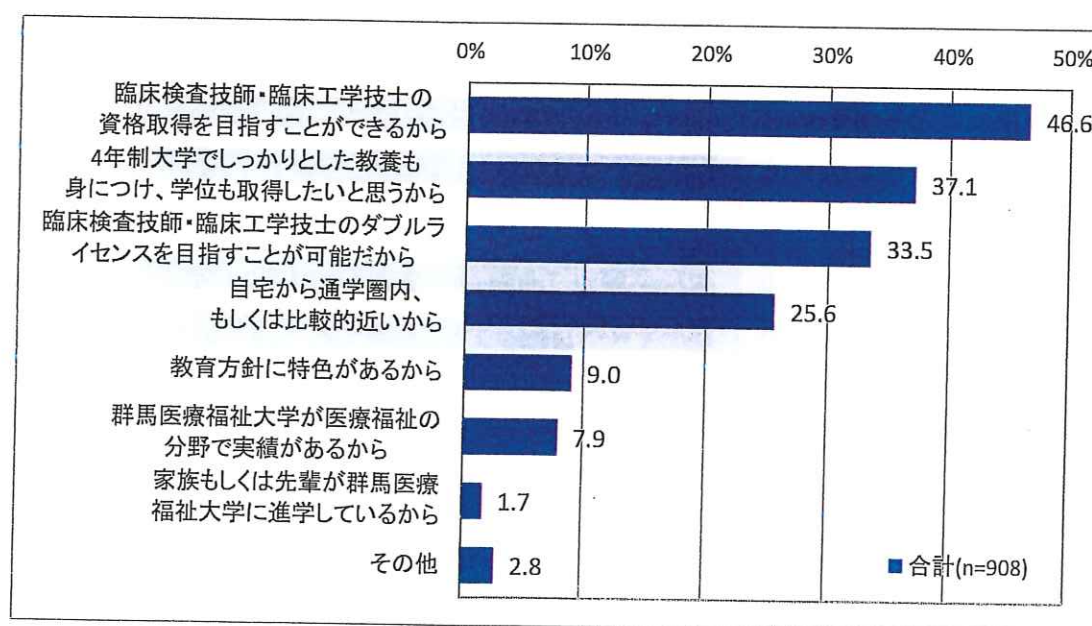
(4) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へ進学したい理由

本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に「ぜひ進学したいと思う」「進学先の1つとして検討したいと思う」と回答した高校2年生に対して、その理由を尋ねた。すると最も高かったのは、「臨床検査技師・臨床工学技士の資格取得を目指すことができるから」で46.6%。次が「4年制大学でしっかりとした教養も身につけ、学位も取得したいと思うから」「臨床検査技師・臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能だから」と続く。高校2年生が、臨床検査技師・臨床工学技士資格取得を魅力的と捉えていることがわかる。

問11 問10で「1.ぜひ進学したいと思う」「2.進学先の1つとして検討したいと思う」を選んだ方に質問します。あなたが群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）に進学したい、もしくは進学を検討したいと思った理由は何ですか。以下の項目から2つまで選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	908	100.0
臨床検査技師・臨床工学技士の資格取得を目指すことができるから	423	46.6
4年制大学でしっかりとした教養も身につけ、学位も取得したいと思うから	337	37.1
臨床検査技師・臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能だから	304	33.5
自宅から通学圏内、もしくは比較的近いから	232	25.6
教育方針に特色があるから	82	9.0
群馬医療福祉大学が医療福祉の分野で実績があるから	72	7.9
家族もしくは先輩が群馬医療福祉大学に進学しているから	15	1.7
その他	25	2.8

※「その他」…「理学療法に興味があるから」「臨床検査技師・臨床工学技士に興味を持ったから」「群馬県に魅力を感じたから」

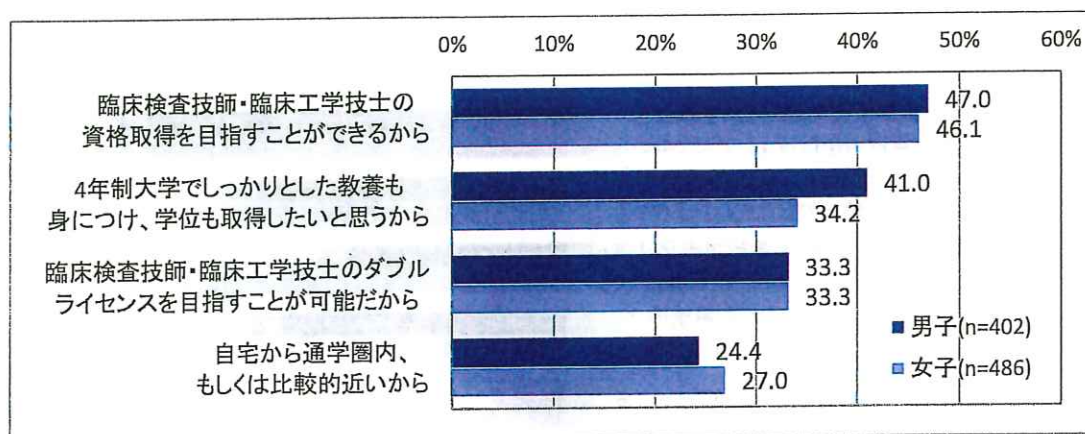


● クロス集計（男女別）

男女別にみても、最も高い「臨床検査技師・臨床工学技士の資格取得を目指すことができるから」の差はほぼなし。次の「4年制大学でしっかりとした教養も身につけ、学位も取得したいと思うから」において、男子の方が約7ポイント高くなっており、男子学生の4年制大学進学意向の高さがうかがえた。

【男女別】

		全 体	臨床検査技師・臨床工学技士の資格取得を目指すことができるから	4年制大学でしっかりとした教養も身につけ、学位も取得したいと思うから	臨床検査技師・臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能だから	自宅から通学圏内、もしくは比較的近いから	教育方針に特色があるから	群馬医療福祉大学が医療福祉の分野で実績があるから	家族もしくは先輩が群馬医療福祉大学に進学しているから	その他
男子	件	402	189	165	134	98	37	37	3	10
	%	100.0	47.0	41.0	33.3	24.4	9.2	9.2	0.7	2.5
女子	件	486	224	166	162	131	41	33	12	14
	%	100.0	46.1	34.2	33.3	27.0	8.4	6.8	2.5	2.9
その他（答えたくない）	件	19	9	5	8	3	4	2	0	1
	%	100.0	47.4	26.3	42.1	15.8	21.1	10.5	0.0	5.3

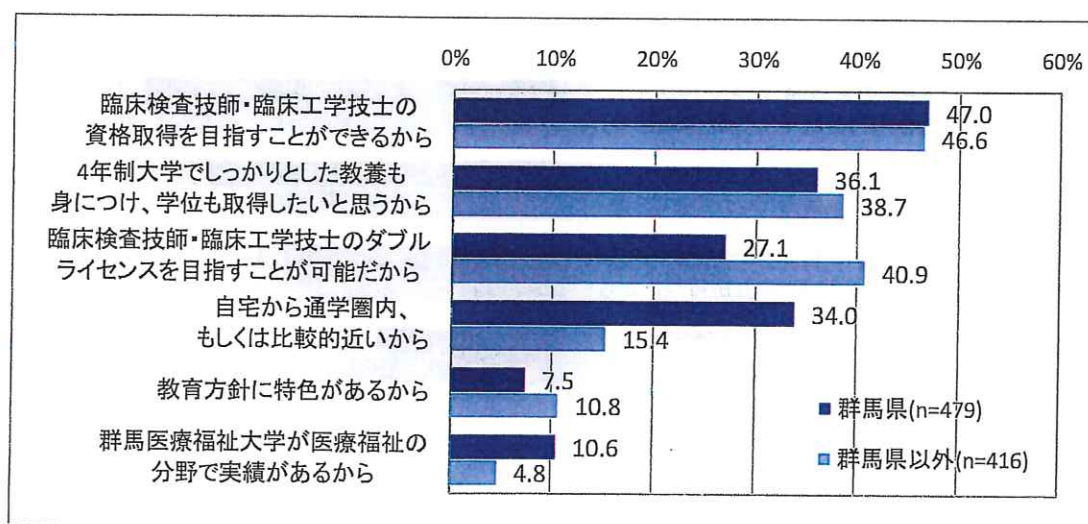


※上位4項目のみ抜粋。また、「その他(答えたくない)」は割愛した。

●クロス集計（進学希望エリア別）

進学を希望するエリアが群馬県かそれ以外かでみると、群馬県以外に進学を希望している高校2年生の「臨床検査技師・臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能だから」が40.9%と高かった（群馬県進学希望者よりプラス約14ポイント）。希望エリアが群馬県以外であったとしても、ダブルライセンス取得可能というカリキュラムによって、本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へ進学したい・進学先の1つとして検討したいと思う高校2年生がいるということである。

【進学希望 エリア別】		全体	臨床検査技師・臨床工学技士の資格取得を目指すことができるから	4年制大学でしっかりとした教養も身につけ、学位も取得したいと思うから	臨床検査技師・臨床工学技士のダブルライセンスを目指すことが可能だから	自宅から通学圏内、もしくは比較的近いから	教育方針に特色があるから	群馬医療福祉大学が医療福祉の分野で実績があるから	家族もしくは先輩が群馬医療福祉大学に進学しているから	その他
群馬県	件	479	225	173	130	163	36	51	12	8
	%	100.0	47.0	36.1	27.1	34.0	7.5	10.6	2.5	1.7
群馬県以外	件	416	194	161	170	64	45	20	3	16
	%	100.0	46.6	38.7	40.9	15.4	10.8	4.8	0.7	3.8



※上位6項目のみ抜粋。

5. まとめ

これまでのアンケート調査結果から、本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に対する高校生の入学意向者数を算出し、以下にまとめた。

今回回答を得た全 5,144 件から無回答を除いた 5,129 件のうち、問 4 で「大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校・専修学校に進学」のいずれかに回答した現高校 2 年生は、4,564 名。そのうち、問 8 で本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）について「とても興味・関心をもった」「少し興味・関心をもった」と回答したのが、2,459 名。そのうち、問 10 で「ぜひ進学したいと思う」と回答したのは 81 名、「進学先の 1 つとして検討したいと思う」と回答したのは 842 名である。

問 4 で「大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校・専修学校に進学」のいずれかに回答	
4,564 名	
↓	
問 8 で本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に 「とても興味・関心をもった」「少し興味・関心をもった」と回答	
2,459 名	
↓	
問 10 で「ぜひ進学したいと思う」と回答	問 10 で「進学先の 1 つとして検討したい と思う」と回答
81 名	842 名

6. 調査票

群馬医療福祉大学「医療技術学部医療技術学科(仮称)」設置に関するアンケート調査票

群馬医療福祉大学では2021年(令和3年)4月に「医療技術学部」(仮称)の設置を構想しています。このアンケートは、令和元年度高校2年生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬医療福祉大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。この調査票は無記名方式で、アンケートで知り得た情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ使用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、下記の資料開示及び別紙チラシをご覧の上、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、本調査は集計・分析を株式会社日本ドリコムに委託しております。

※「医療技術学部」(仮称・設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

○臨床検査技師とは

私たちが病気になるって病院に行くと、どんな検査を受けると思いますか?血液、尿、便、心電図、超音波など様々な検査を受けます。これらの検査を行っているのが臨床検査技師です。

臨床検査技師は検査を通して患者さんの体のデータを分析し、医師へ正確な情報を提供し、診断や治療方針の決定につなげる大事な役割を果たしています。また、検査は病気の予防・早期発見にも必須です。

現在はチーム医療の時代であり、多くの医療スタッフが関与しています。中でも臨床検査技師は「検査のスペシャリスト」として将来も欠かせない職業です。

○臨床工学技士とは

現代の高医療は、最先端技術の医療機器に支えられています。

臨床工学技士は、「医療と工学の知識」を持った高度医療機器を扱う専門職です。手術室やICU(集中治療室)等で人命と直結する医療機器(人工心臓、人工呼吸器、人工腎臓)等の操作や保守管理を行います。

最近では、ロボットやナビゲーションを用いた手術、人工心臓や血管内カテーテルによる心臓弁置換、ペースメーカー等の十分な知識と専門性が求められる分野が増えています。将来は、AI(人工知能)を用いた治療などにより専門性はさらに高度化し、臨床工学技士は益々重要視されるでしょう。

I. あなた自身についてお聞きします。

問1 あなたの性別を教えてください。右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 男性 2 女性 3 その他(答えたくない)

問1

--

問2 あなたの通っている高校の所在地(都道府県)について教えてください。右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 群馬県 2 埼玉県 3 栃木県 4 長野県 5 新潟県 6 その他()

問2

--

問3 あなたが所属している(もしくは所属しようと考えている)コースについて教えてください。以下の項目からいずれかひとつを右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 文系クラス 2 理系クラス 3 コース選択はない 4 その他(具体的に)

問3

--

II. 高校卒業後の進路や興味・関心がある学びについてお聞きします。

問4 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか?

以下の項目からあてはまるものをすべて右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 大学に進学 2 短期大学に進学 3 専門学校・専修学校に進学 4 就職 5 その他()

問4

--	--	--	--	--

問5 問4において、1. 大学、2. 短期大学、3. 専門学校・専修学校 に進学を選んだ方に質問します。(その他の方は問7へお進みください。)あなたは卒業後の進路についてどのような地域に進学を希望していますか?以下の項目から2つまで選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 群馬県 2 埼玉県 3 栃木県 4 長野県 5 新潟県 6 東京都 7 茨城県

- 8 神奈川県 9 千葉県 10 東北地方 11 その他()

問5

--	--

問6 あなたはどのような学問に興味・関心がありますか?以下の項目から興味・関心がある学問すべてを右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 医療技術学 2 薬学 3 医学・歯学 4 保健・看護学 5 栄養学 6 体育・健康科学 7 工学
8 農学・水産学 9 語学 10 文化・文学 11 経済・経営・商学 12 芸術学 13 国際関係学 14 法学
15 社会福祉学 16 社会学 17 教育学 18 保育・幼児教育 19 理学 20 その他()

問6

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 7

- Ⅲ. 群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）についてお聞きします。

問 8

- 問 9-1

問 9-2

图 10

- | | |
|----|--|
| 11 | |
|----|--|

- 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

廚房內案檯、案型櫃、抽油煙機等宜在食慾

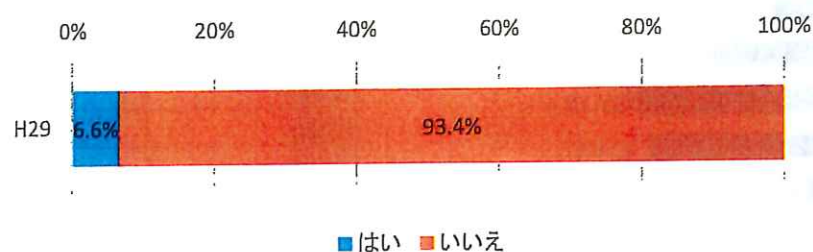
【臨床工学科】				※学内実験、実習費、施設設備費を含む		
大学名	学部	学科	定員	入学金	授業料※	4年間納入金
群馬大学	保健科学部	臨床工学科	50	150,000	1,400,000	6,500,000
つくば国際大学	医療保健学部	医療技術学科	40	300,000	1,550,000	6,700,000
群馬医療福祉大学	医療技術学部 (夜学)	医療技術学科 (臨床工)	40	300,000	1,550,000	6,500,000

●他大学の随付金は各大学のホームページ調べ ●木学の随付金については、予定額であり、変更となる場合があります

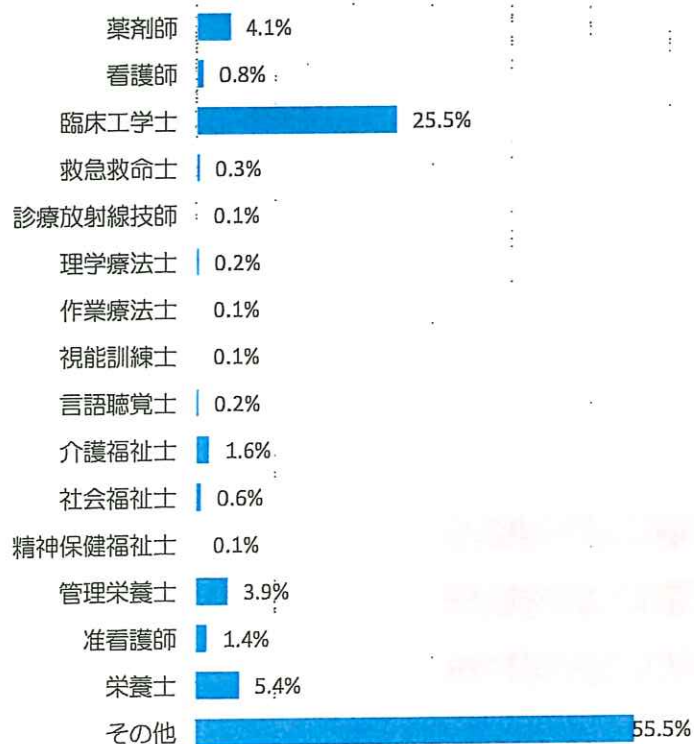
新学部学生納付金設定検討資料（本学調べ）

No.	大学名	学部名	学科名	検定料	入学金	年間学費	初年度学費 (入学金+年間学費)	4年間学納金 (入学金+4年間学費)
臨床検査技師臨床工学技士ダブルライセンス取得可能大学								
①	新潟医療福祉大学	医療技術学部	臨床技術学科	35,000 (センター20,000)	350,000	1,500,000	1,850,000	6,350,000
②	北陸大学	医療保健学部	臨床技術学科	20,000 (センター10,000)	200,000	1,500,000	1,700,000	6,200,000
③	広島国際大学	保健医療学部	医療技術学科	35,000	250,000	1,520,000	1,770,000	6,660,000
群馬県内(臨床検査技師・臨床工学技士)養成私立大学								
①	群馬パース大学	保健科学部	検査技術学科 臨床工学科	30,000 (センター12,000)	150,000	1,400,000	1,550,000	6,500,000
近県(臨床検査技師・臨床工学技士)養成私立大学								
①	つくば国際大学	医療保健学部	臨床検査学科 医療技術学科	30,000 (センター5,000)	300,000	1,550,000	1,850,000	6,500,000
②	埼玉医科大学	保健医療学部	臨床検査学科 医用生体工学科	35,000	300,000	1,500,000	1,800,000	6,600,000
③	女子栄養大学(埼玉)	栄養学部	保健栄養学科	25,000 (センター10,000)	375,000	1,723,000	2,098,000	7,267,000
④	帝京大学(栃木)	理工学部	情報電子工学科	35,000	250,000	1,321,000	1,571,000	5,534,000
⑤	日本医療科学大学(埼玉)	保健医療学部	臨床工学科	30,000 (センター18,000)	300,000	1,556,000	1,856,000	6,544,000
群馬医療福祉大学リハビリテーション学部								
①	群馬医療福祉大学	リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	20,000 (センター10,000)	300,000	1,500,000	1,800,000	6,300,000
群馬医療福祉大学医療技術学部(仮称)案								
No.	大学名	学部名	学科名	検定料	入学金	年間学費	初年度学費 (入学金+年間学費)	4年間学納金 (入学金+4年間学費)
①	群馬医療福祉大学 (案)	医療技術学部 (仮称)	医療技術学科 (仮称)	20,000 (センター10,000)	300,000	1,550,000	1,850,000	6,500,000

【臨床検査技師以外の資格取得状況】



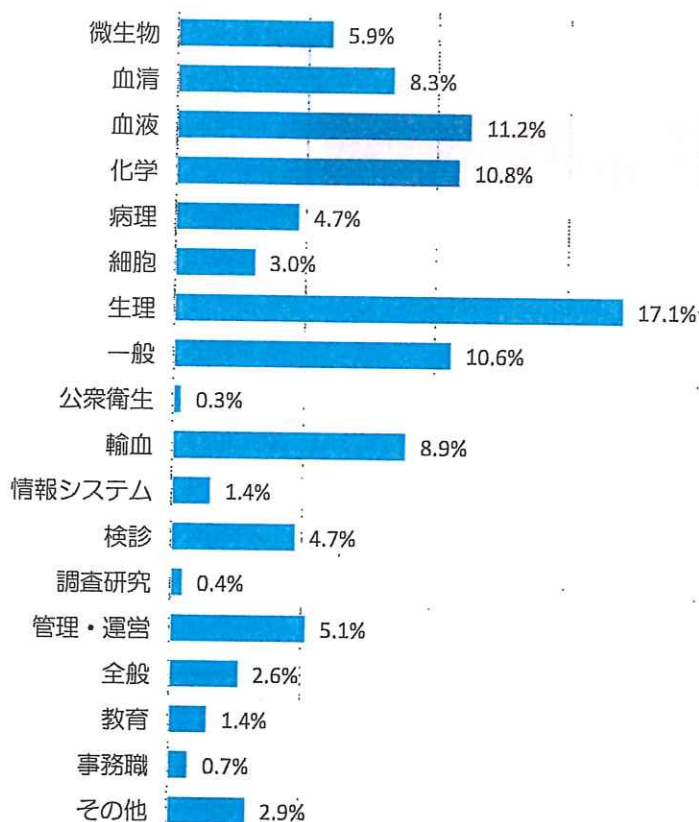
	件数	割合
はい	945	6.6%
いいえ	13,392	93.4%
合計	14,337	100.0%



	件数	割合
薬剤師	41	4.1%
看護師	8	0.8%
臨床工学士	253	25.5%
救急救命士	3	0.3%
診療放射線技師	1	0.1%
理学療法士	2	0.2%
作業療法士	1	0.1%
視能訓練士	1	0.1%
言語聴覚士	2	0.2%
介護福祉士	16	1.6%
社会福祉士	6	0.6%
精神保健福祉士	1	0.1%
管理栄養士	39	3.9%
准看護師	14	1.4%
栄養士	54	5.4%
その他	551	55.5%
合計	993	100.0%

検査技師以外の所有国家資格として多いのは臨床工学技士、次いで栄養士、薬剤師となっている。

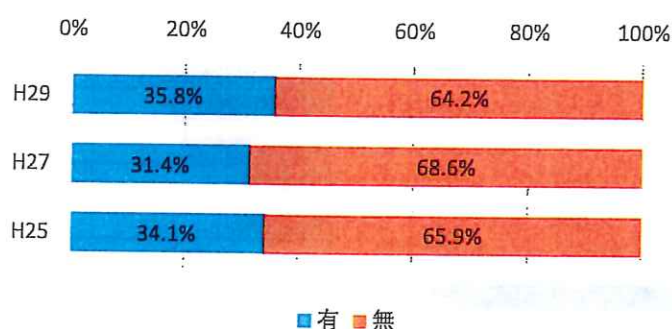
【担当業務】



	件数	割合
微生物	1,858	5.9%
血清	2,617	8.3%
血液	3,552	11.2%
化学	3,413	10.8%
病理	1,477	4.7%
細胞	953	3.0%
生理	5,396	17.1%
一般	3,340	10.6%
公衆衛生	80	0.3%
輸血	2,817	8.9%
情報システム	445	1.4%
検診	1,483	4.7%
調査研究	128	0.4%
管理・運営	1,621	5.1%
全般	811	2.6%
教育	438	1.4%
事務職	221	0.7%
その他	924	2.9%
合計	31,574	100.0%

担当する業務は生理検査が最も多く、血液・化学となっている。

【扶養家族】



	H29		H27		H25	
有	5,172	36%	10,352	31%	9,859	34%
無	9,282	64%	22,566	69%	19,087	66%
合計	14,454	100%	32,918	100%	28,946	100%

回答者の6割強が扶養がなしとの回答であり、年次別回答でも変化は見られない。

群馬医療福祉大学
医療技術学部医療技術学科(仮称)
受容性調査結果報告書
<企業向け>

株式会社日本ドリコム

2020 年 1 月

もくじ

1. 学生確保に関する調査概要	2
(1) 調査・目的.....	2
(2) 調査期間	2
(3) 調査対象・地域.....	2
(4) 調査方法	2
(5) 回収状況	2
(6) 本報告書について	2
2. 回答があった施設の属性	3
(1) 業種.....	3
(2) 所在地（都道府県）	3
(3) 従業員数・職員数の規模	3
3. 臨床検査技師及び臨床工学技士の採用状況	4
(1) 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材がいるかどうか	4
(2) 昨年度の臨床検査技師及び臨床工学技士の採用人数	7
(3) 採用の際、重視するもの	9
4. 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）について	11
(1) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）の特徴で魅力的だと思うもの ..	11
(2) 本学が設置を計画する臨床検査技師及び臨床工学技士の社会的必要性	13
(3) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生への採用意向	14
(4) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生の採用想定人数	16
(5) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へのご意見・ご要望	17
(6) まとめ	18
5. 調査票	19

1. 学生確保に関する調査概要

(1) 調査・目的

本調査は、群馬医療福祉大学 医療技術学部医療技術学科（仮称）の新設計画に伴い、該当学科の卒業生の就職先として想定される病院等へ本計画に対する関心度及び現在の採用状況を尋ね社会的ニーズを把握し、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査期間

2019 年 12 月

(3) 調査対象・地域

関東・中部圏に所在する病院・診療所等 671 箇所

(4) 調査方法

郵送アンケート調査

(5) 回収状況

69 件（回収率 10.3%）

(6) 本報告書について

次ページより、貴学の名称は群馬医療福祉大学もしくは「本学」と表記している。
なお、無回答は集計対象外とした。

2. 回答があった施設の属性

(1) 業種

問1 業種について、次の中から該当するもの（最も近いもの）を1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	68	100.0
病院	63	92.6
検査センター	4	5.9
医療機器メーカー	1	1.5

※「診療所・クリニック」「その他の企業」「その他」は回答なし。

(2) 所在地（都道府県）

問2 所在地（都道府県）を1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	67	100.0
神奈川県	11	16.4
群馬県	10	14.9
埼玉県	10	14.9
茨城県	8	11.9
東京都	7	10.4
千葉県	7	10.4
長野県	6	9.0
新潟県	5	7.5
栃木県	2	3.0
山梨県	1	1.5

※「その他」は回答なし。

(3) 従業員数・職員数の規模

問3 従業員数、職員数の規模を、次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	68	100.0
50名未満	0	0.0
50～100名未満	0	0.0
100～500名未満	21	30.9
500名以上	47	69.1

3. 臨床検査技師及び臨床工学技士の採用状況

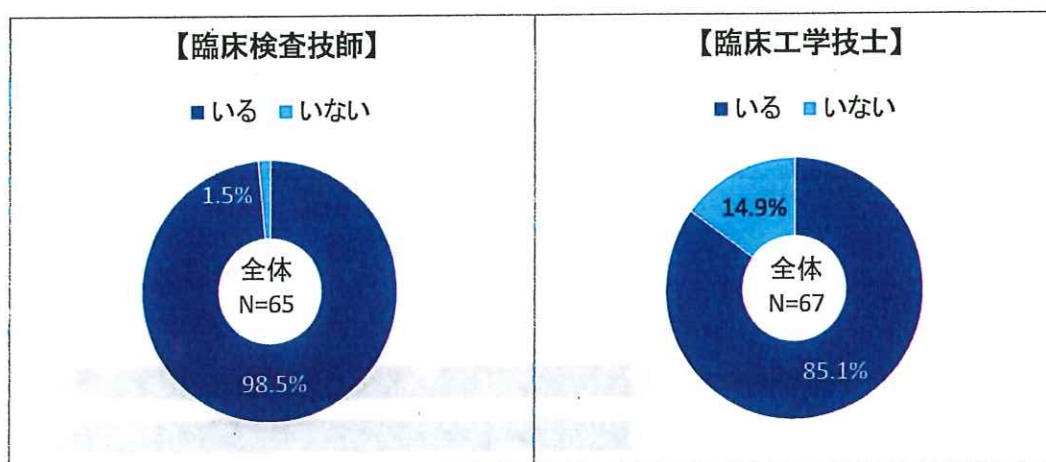
(1) 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材がいるかどうか

臨床検査技師の資格のある人材が「いる」との回答は98.5%に上る。「いない」との1件は医療機器メーカーのものであり、今回回答のあった全ての病院・検査センターに臨床検査技師資格所有者が在籍していることがわかる。

また、臨床工学技士資格のある人材では「いる」が85.1%だった。

問4 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材はいらっしゃいますか？次の中から1つ選んでそれぞれ右の囲み欄に数字をご記入ください。

	【臨床検査技師】		【臨床工学技士】	
	件数	%	件数	%
全 体	65	100.0	67	100.0
いる	64	98.5	57	85.1
いない	1	1.5	10	14.9

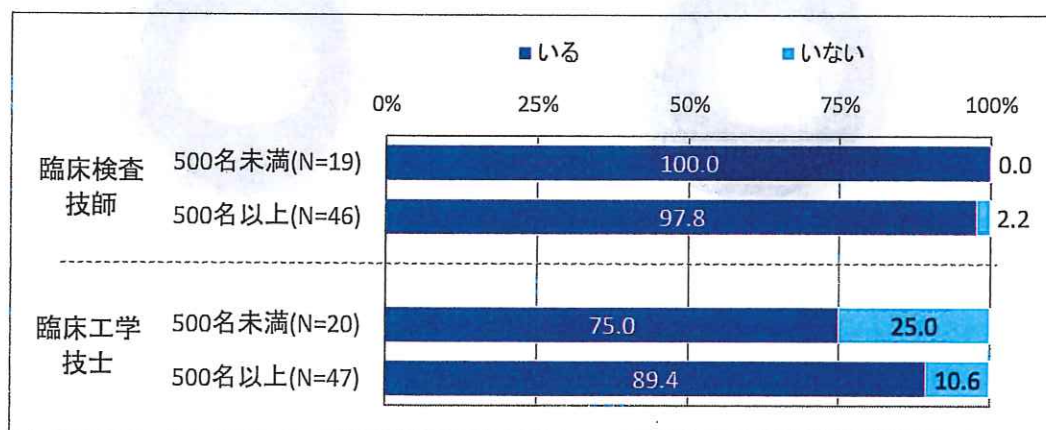


● クロス集計（規模別）

病院等の規模別にクロス集計を行ったところ、下記の結果となった。臨床検査技師資格所有者は、500 名未満では「いる」が 100.0%。また、臨床工学技士では、500 名未満で「いる」が 75.0%に対し、500 名以上で 89.4%となった。

【臨床検査技師】		全 体	い る	い な い
規模 500 名未満	件	19	19	0
	%	100.0	100.0	0.0
規模 500 名以上	件	46	45	1
	%	100.0	97.8	2.2

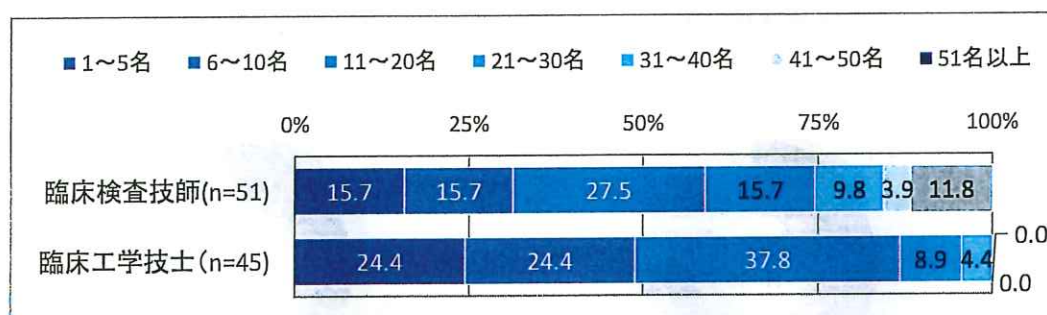
【臨床工学技士】		全 体	い る	い な い
規模 500 名未満	件	20	15	5
	%	100.0	75.0	25.0
規模 500 名以上	件	47	42	5
	%	100.0	89.4	10.6



● 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材の人数

問 4 で臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材が「いる」と回答した病院等に、それぞれの人数を尋ねたところ、臨床検査技師・臨床工学技士のいずれにおいても「11～20 名」の割合が最も高かった。なお、臨床検査技師では、1 施設あたり「51 名以上」在籍している病院等が 11.8%である。

	【臨床検査技師】		【臨床工学技士】	
	件数	%	件数	%
全 体	51	100.0	45	100.0
1～5 名	8	15.7	11	24.4
6～10 名	8	15.7	11	24.4
11～20 名	14	27.5	17	37.8
21～30 名	8	15.7	4	8.9
31～40 名	5	9.8	2	4.4
41～50 名	2	3.9	0	0.0
51 名以上	6	11.8	0	0.0

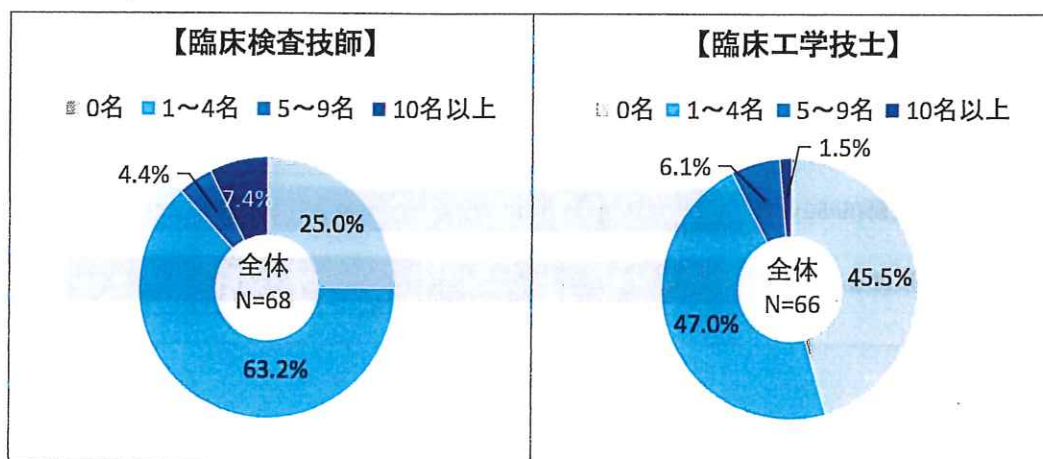


(2) 昨年度の臨床検査技師及び臨床工学技士の採用人数

問 4 で臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材が「いる」と回答した病院等に、昨年度採用した臨床検査技師及び臨床工学技士の人数を尋ねた。すると、臨床検査技師・臨床工学技士のいずれも「1～4 名」がもっとも高く、それぞれ 63.2%、47.0%となった。なお臨床検査技師では、昨年だけで「10 名以上」採用している病院等が 7.4%あることがわかった。

問 5 昨年度に採用された「臨床検査技師」及び「臨床工学技士」の人数はそれぞれ何名程度ですか？次の中から 1 つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	【臨床検査技師】		【臨床工学技士】	
	件数	%	件数	%
全 体	68	100.0	66	100.0
0 名	17	25.0	30	45.5
1～4 名	43	63.2	31	47.0
5～9 名	3	4.4	4	6.1
10 名以上	5	7.4	1	1.5



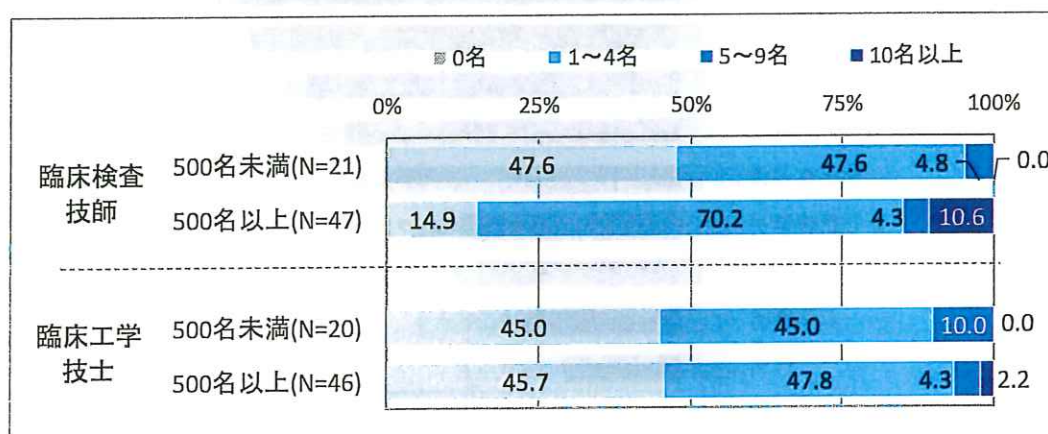
●クロス集計（規模別）

規模別にみると、臨床検査技師では、500名以上の病院等では80%以上が昨年度採用を行っており、うち10.6%が「10名以上」採用している。500名未満においても、50%以上が臨床検査技師の採用をしている。

また、臨床工学技士においては、規模にかかわらず約55%が昨年度採用を行っており、その人数は「1～4名」がそれぞれ45.0%、47.8%である。

【臨床検査技師】		全 体	0 名	1 ～ 4 名	5 ～ 9 名	10 名 以上
規模 500 名 未満	件	21	10	10	1	0
	%	100.0	47.6	47.6	4.8	0.0
規模 500 名 以上	件	47	7	33	2	5
	%	100.0	14.9	70.2	4.3	10.6

【臨床工学技士】		全 体	0 名	1 ～ 4 名	5 ～ 9 名	10 名 以上
規模 500 名 未満	件	20	9	9	2	0
	%	100.0	45.0	45.0	10.0	0.0
規模 500 名 以上	件	46	21	22	2	1
	%	100.0	45.7	47.8	4.3	2.2



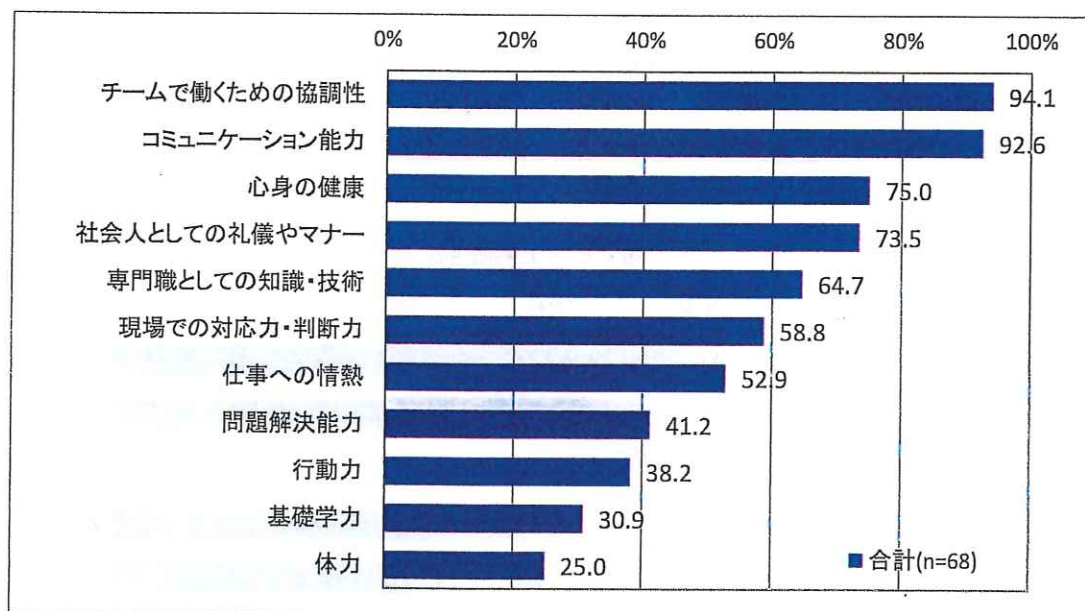
(3) 採用の際、重視するもの

人材を採用する際に重視するものとしては、「チームで働くための協調性」と「コミュニケーション能力」の2つが90%を超えており、非常に高い。次いで、「心身の健康」「社会人としての礼儀やマナー」が70%台で続いた。

問6 人材を採用される場合に重視するものを、次の中からすべて選び、右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	68	100.0
チームで働くための協調性	64	94.1
コミュニケーション能力	63	92.6
心身の健康	51	75.0
社会人としての礼儀やマナー	50	73.5
専門職としての知識・技術	44	64.7
現場での対応力・判断力	40	58.8
仕事への情熱	36	52.9
問題解決能力	28	41.2
行動力	26	38.2
基礎学力	21	30.9
体力	17	25.0

※「その他」は回答なし。



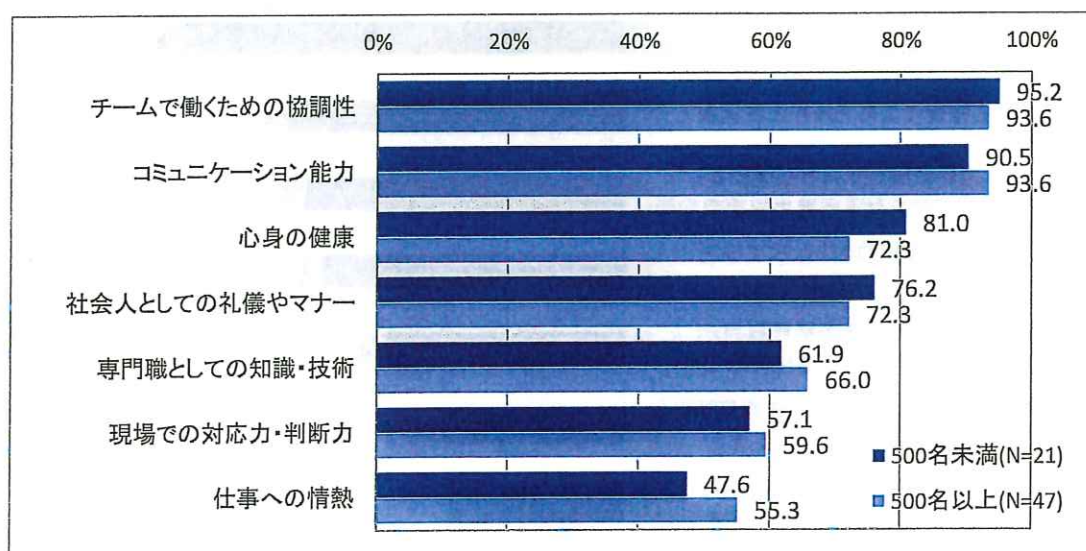
※「その他」は回答がないため、グラフ上では割愛した。

● クロス集計（規模別）

規模別にみても、「チームで働くための協調性」「コミュニケーション能力」の2つは90%超と高くなっている。

		全 体	チ ーム で 働 く た め の 協 調 性	コ ミュ ニ ケー シ ョ ン 能 力	心 身 の 健 康	社 会 人 と し て の 礼 儀 や マ ナー	専 門 職 と し て の 知 識 ・ 技 術	現 場 で の 対 応 力 ・ 判 断 力
規模 500 名未満	件	21	20	19	17	16	13	12
	%	100.0	95.2	90.5	81.0	76.2	61.9	57.1
規模 500 名以上	件	47	44	44	34	34	31	28
	%	100.0	93.6	93.6	72.3	72.3	66.0	59.6

仕 事 へ の 情 熱	問 題 解 決 能 力	行 動 力	基 礎 学 力	体 力
10	10	6	7	5
47.6	47.6	28.6	33.3	23.8
26	18	20	14	12
55.3	38.3	42.6	29.8	25.5



※グラフ上では、いずれの規模でも50%を超えている上位7項目のみ抜粋した。

4. 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）について

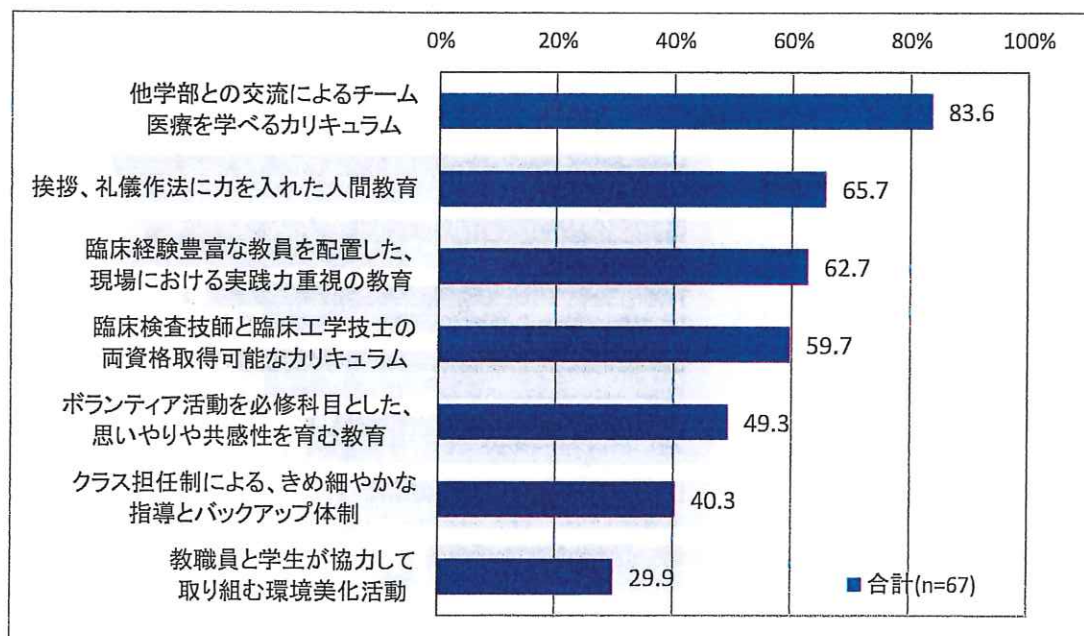
(1) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）の特徴で魅力的だと思うもの

本学が設置を計画している「医療技術学部医療技術学科（仮称）」で特徴としている学びについて、魅力的だと思うものを尋ねた。最も高かったのは、「他学部との交流によるチーム医療を学べるカリキュラム」であり、83.6%。

問6の人材採用時の重視点においても、「チームで働くための協調性」が最も高く、チームという点が重要視されていることが、ここからもよくわかる。

問7 群馬医療福祉大学医療技術学部（仮称）は、以下のような学びを特徴としています。魅力的だと思うものを次の中からすべて選び、右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	67	100.0
他学部との交流によるチーム医療を学べるカリキュラム	56	83.6
挨拶、礼儀作法に力を入れた人間教育	44	65.7
臨床経験豊富な教員を配置した、現場における実践力重視の教育	42	62.7
臨床検査技師と臨床工学技士の両資格取得可能なカリキュラム	40	59.7
ボランティア活動を必修科目とした、思いやりや共感性を育む教育	33	49.3
クラス担任制による、きめ細やかな指導とバックアップ体制	27	40.3
教職員と学生が協力して取り組む環境美化活動	20	29.9

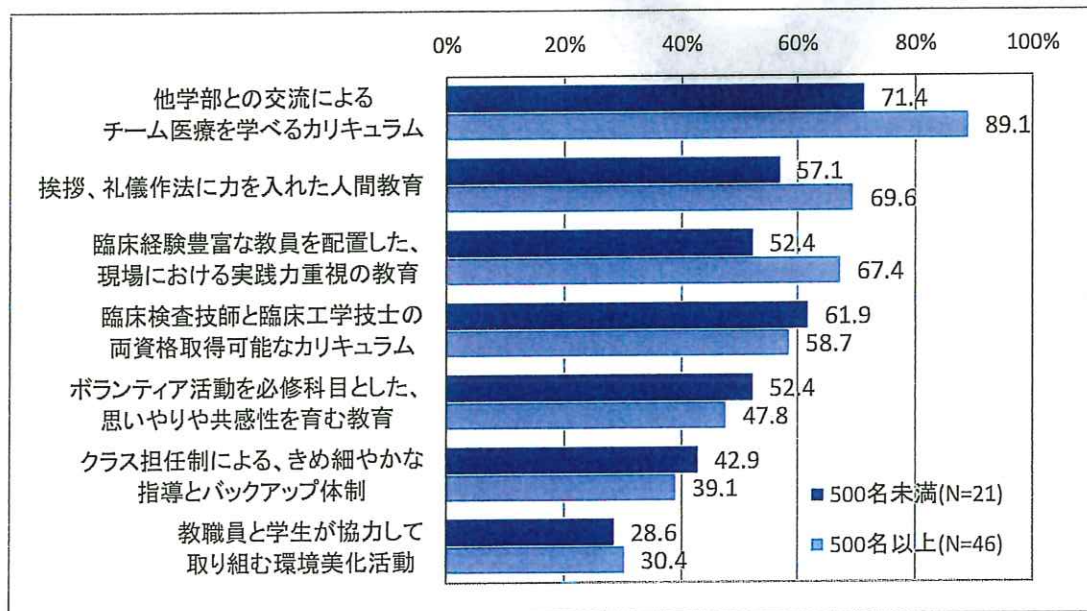


● クロス集計（規模別）

いずれの規模においても、最も高いのは「他学部との交流によるチーム医療を学べるカリキュラム」であり、特に 500 名以上の規模では 89.1%に上る。

また、500 名未満の規模においては、「臨床検査技師と臨床工学技士の両資格取得可能なカリキュラム」が 2 番目に高かった。

		全 体	他 学 部 と の 交 流 に よ る チ ー ム 医 療 を 学 べ る カ リ キ ュ ラ ム	挨 拶 、 礼 儀 作 法 に 力 を 入 れ た 人 間 教 育	臨 床 経 験 豊 富 な 教 員 を 配 置 し た 、 現 場 に お け る 実 践 力 重 視 の 教 育	資 格 取 得 可 能 な カ リ キ ュ ラ ム	臨 床 検 査 技 師 と 臨 床 工 学 技 士 の 両 資 格 取 得 可 能 な カ リ キ ュ ラ ム	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 必 修 科 目 と し た 、 思 い や り や 共 感 性 を 育 む 教 育	ク ラ ス 担 任 制 に よ る 、 き め 細 や か な 指 導 と バ ッ ク ア ッ プ 体 制	教 職 員 と 学 生 が 協 力 し て 取 り 組 む 環 境 美 化 活 動
規模	件	21	15	12	11	13	11	9	6	
500 名未満	%	100.0	71.4	57.1	52.4	61.9	52.4	42.9	28.6	
規模	件	46	41	32	31	27	22	18	14	
500 名以上	%	100.0	89.1	69.6	67.4	58.7	47.8	39.1	30.4	

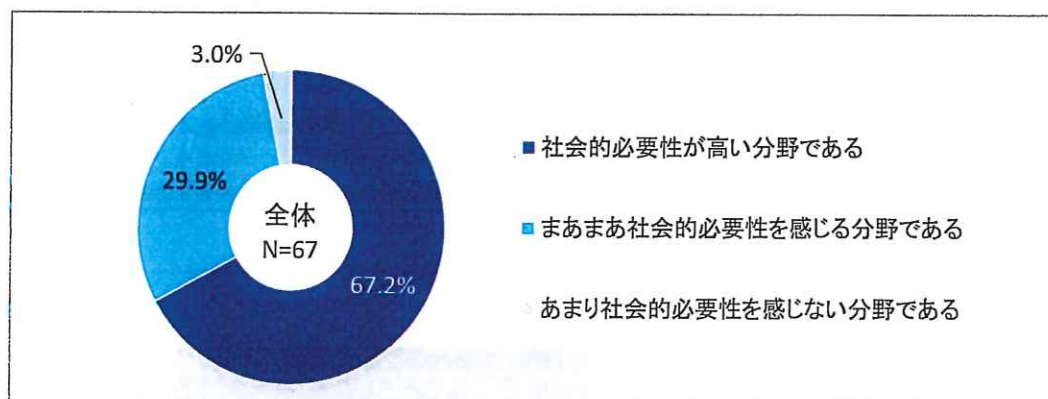


(2) 本学が設置を計画する臨床検査技師及び臨床工学技士の社会的必要性

本学が設置を計画する臨床検査技師と臨床工学技士養成について、「社会的必要性が高い分野である」との回答が 67.2%を占めた。「まあまあ社会的必要性を感じる分野である」と合わせると、社会的必要性が高いとの回答はほぼ 100%となる。

問 8 群馬医療福祉大学が設置を計画している臨床検査技師養成、臨床工学技士養成の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか？それぞれの資格ごとに、次の中から 1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	67	100.0
社会的必要性が高い分野である	45	67.2
まあまあ社会的必要性を感じる分野である	20	29.9
あまり社会的必要性を感じない分野である	2	3.0
全く社会的必要性を感じない分野である	0	0.0
その他	0	0.0

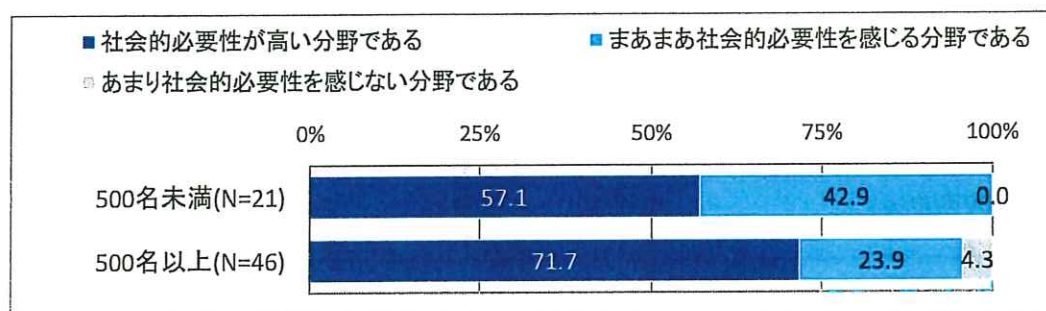


※「全く社会的必要性を感じない分野である」「その他」は回答がないため、グラフ上では割愛した。

● クロス集計（規模別）

規模別にみると、特に 500 名以上において「社会的必要性が高い分野である」との割合が高く、71.7%となった。また、500 名未満では、社会的必要性を感じないとの回答は 0 件であった。

		全 体	社会的 必要性が 高い分 野である	まあまあ社会的 必要性を 感じる分 野である	あまり社会的 必要性を 感じない 分野である	全く社会的 必要性を 感じない 分野である	その他
規模 500 名未満	件	21	12	9	0	0	0
	%	100.0	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
規模 500 名以上	件	46	33	11	2	0	0
	%	100.0	71.7	23.9	4.3	0.0	0.0



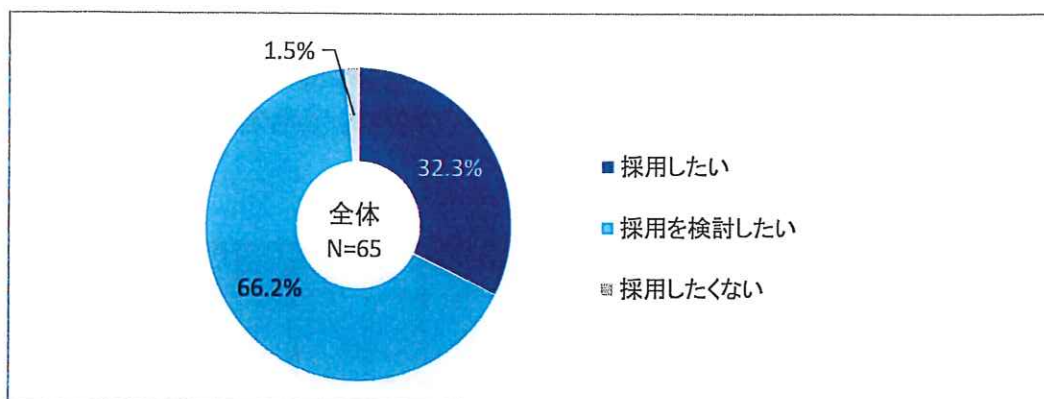
※「全く社会的必要性を感じない分野である」「その他」は回答がないため、グラフ上では割愛した。

(3) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生への採用意向

本学の「医療技術学部医療技術学科（仮称）」卒業生への採用意向を尋ねたところ、「採用したい」が 32.3%だった。なお、「採用したくない」は 1 社のみである。

問 9 貴機関・貴施設・貴団体・貴社では、群馬医療福祉大学「医療技術学部（仮称）」を卒業し、臨床検査技師、臨床工学技士の資格を有する人材を採用したいと思いますか？次の中から 1 つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

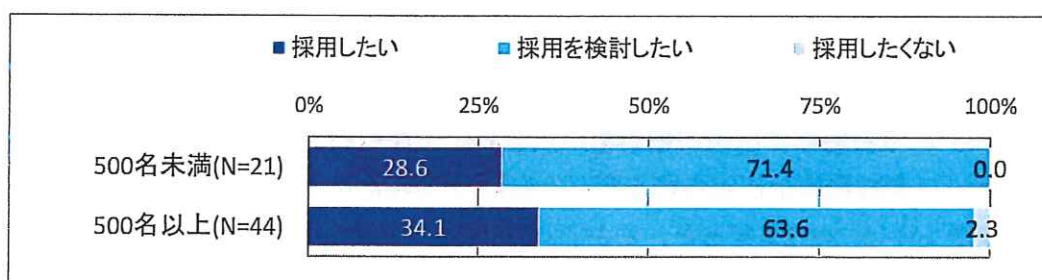
	件数	%
全 体	65	100.0
採用したい	21	32.3
採用を検討したい	43	66.2
採用したくない	1	1.5



● クロス集計（規模別）

規模にかかわらず採用意向は高く、「採用したい」割合は、500名未満で28.6%、500名以上で34.1%である。

		全 体	採 用 し た い	採 用 を 検 討 し た い	採 用 し た く な い
規模 500 名 未 満	件	21	6	15	0
	%	100.0	28.6	71.4	0.0
規模 500 名 以 上	件	44	15	28	1
	%	100.0	34.1	63.6	2.3

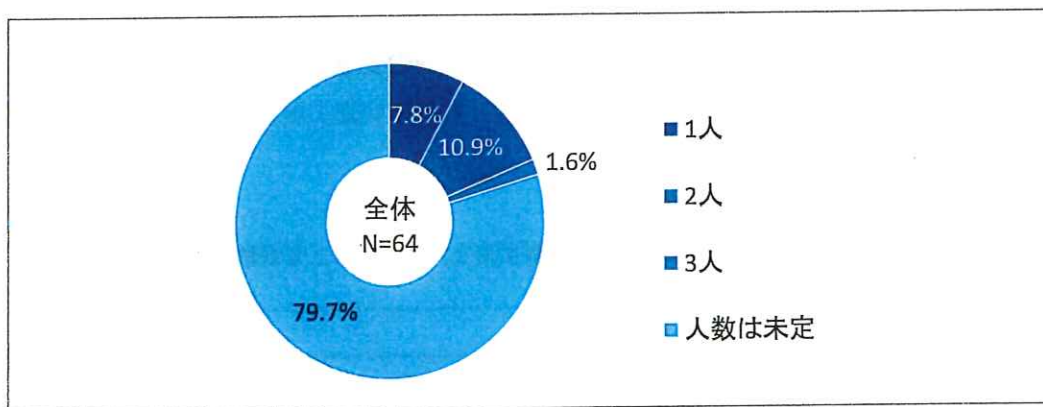


(4) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生の採用想定人数

問 9 にて本学卒業生を「採用したい」「採用を検討したい」と回答した病院等に対し、毎年何人採用したいかを尋ねたところ、最も高かったのは「人数は未定」であり、79.7%。また、毎年「1人」が5件7.8%、毎年「2人」が7件10.9%、毎年「3人」が1社1.6%である。

問 10 将来、群馬医療福祉大学「医療技術学部（仮称）」の卒業生（臨床検査技師・臨床工学技士）を毎年何人採用したいと考えますか？ 問 9 での「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を選択された資格について次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

	件数	%
全 体	64	100.0
1 人	5	7.8
2 人	7	10.9
3 人	1	1.6
4 人	0	0.0
5 人	0	0.0
6 人以上	0	0.0
人数は未定	51	79.7

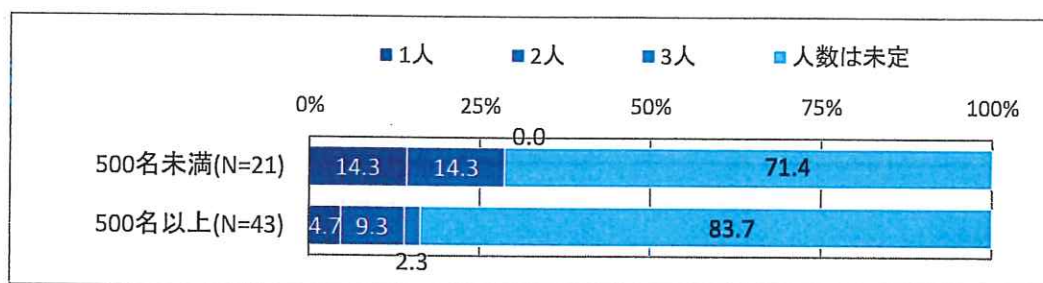


※「4人」「5人」「6人以上」は回答がないため、グラフ上では割愛した。

● クロス集計（規模別）

参考までに規模別にみると、下記の結果となる。

		全 体	1 人	2 人	3 人	4 人 以上	人 数 は 未 定
規模 500 名未満	件	21	3	3	0	0	15
	%	100.0	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4
規模 500 名以上	件	43	2	4	1	0	36
	%	100.0	4.7	9.3	2.3	0.0	83.7



※「4人」「5人」「6人以上」は回答がないため、グラフ上では割愛した。

(5) 本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）へのご意見・ご要望

本学 医療技術学部医療技術学科（仮称）に関する意見・要望では、下記のような回答があった。

問 11 群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科に関し、ご意見・ご要望等がございましたら、お書きください。（自由回答）

・臨床現場に即対応できる人材育成を期待する。

・欠員の際には、医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生の採用を検討したい。

(6) まとめ

これまでのアンケート調査結果から、群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科（仮称）卒業生への社会的ニーズを考察し、以下にまとめた。

今回回答を得た全 69 件から無回答を除いた 67 件のうち、問 8 で臨床検査技師と臨床工学技士の養成について、「社会的必要性が高い分野である」と回答したのは 45 件（67.2%）、「まあまあ社会的必要性を感じる分野である」と回答したのは 20 件（全体の 29.9%）。合わせて 65 件（全体の 97.1%）が、臨床検査技師と臨床工学技士養成について社会的必要性を感じていることがわかった。

また、全 69 件から無回答を除いた 65 件のうち、問 9 で本学卒業生を「採用したい」と回答したのは 21 件（全体の 32.3%）、「採用を検討したい」と回答したのは 43 件（全体の 66.2%）。合わせて 64 件（全体の 98.5%）が本学卒業生への採用に積極的であることがわかった。

5. 調査票

FAX送信先：03-6746-0053

株式会社日本ドリコム 東京営業部 小池宛 【ご返信期日：12月24日（火）】

群馬医療福祉大学「医療技術学部医療技術学科(仮称)」設置に関するアンケート調査票

群馬医療福祉大学では2021年（令和3年）4月に「医療技術学部」（仮称）の設置を構想しています。このアンケートは、公的機関・医療機関・企業等の皆様の人事・採用に対する考え方やご意見をお伺いし、群馬医療福祉大学の教育をより充実させるための参考資料とさせていただきます。この調査票は無記名方式で、アンケートで知り得た情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ使用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、別紙チラシ等をご覧ください。ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、本調査は集計・分析を株式会社日本ドリコムに委託しております。

※「医薬技術学部」（仮称・設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

○群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科

臨床検査学専攻（入学定員40名）臨床検査技師養成

臨床工学専攻（入学定員40名） 臨床工学技士養成

※選択によりダブルライセンス（臨床検査技師・臨床工学技士の両資格）を目指すことも可能です

1. はじめに、貴機関・貴施設・貴団体・貴社についてお聞きします。

問1 業種について、次の中から該当するもの(最も近いもの)を1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 病院 2 診療所・クリニック 3 検査センター 4 医療機器メーカー
5 その他の企業 6 その他（ ）

問 1

1

問2 所在地（都道府県）を1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 群馬県 2 埼玉県 3 栃木県 4 茨城県 5 東京都 6 神奈川県
7 千葉県 8 長野県 9 新潟県 10 山梨県 11 その他()

問 2

2

問3 従業員数、職員数の規模を、次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 50名未満 2 50～100名未満 3 100～500名未満 4 500名以上

問 3

100

問4 臨床検査技師及び臨床工学技士の資格のある人材はいらっしゃいますか？次の中から1つ選んでそれぞれ右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 【1.臨床検査技師】 1 いる (名) 2 いない
【2.臨床工学技士】 1 いる (名) 2 いない

問 4-1

問 4-2

4

4-2

問5 昨年度に採用された「臨床検査技師」及び「臨床工学技士」の人数はそれぞれ何名程度ですか？
次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

- | | | | | |
|-------------|------|--------|--------|---------|
| 【1. 臨床検査技師】 | 1 0名 | 2 1~4名 | 3 5~9名 | 4 10名以上 |
| 【2. 臨床工学技士】 | 1 0名 | 2 1~4名 | 3 5~9名 | 4 10名以上 |

問 5-1

問 5-2

图 5-1

图 5-2

問6 人材を採用される場合に重視するものを、次の中からすべて選び、右の囲み欄に数字をご記入ください。

問 6

- 1 コミュニケーション能力 2 チームで働くための協調性
- 3 現場での対応力・判断力 4 問題解決能力 5 社会人としての礼儀やマナー
- 6 専門職としての知識・技術 7 基礎学力 8 体力 9 仕事への情熱
- 10 心身の健康 11 行動力 12 その他（ ）

II. ここからは別紙チラシ等をご参考のうえ、群馬医療福祉大学についてお聞きします。

問7 群馬医療福祉大学医療技術学部（仮称）では、以下のような学びを特徴としています。問7
魅力的だと思うものを次の中からすべて選び、右の囲み欄に数字をご記入ください。

- 1 建学の精神のもと、挨拶、礼儀作法に力を入れた人間教育に取り組んでいる。
- 2 生活環境を整えることを目的に、教職員と学生が協力して、環境美化活動に取り組んでいる。
- 3 ボランティア活動が必修科目であり、「思いやり」や「共感性」を育む貴重な機会になっている。
- 4 選択科目履修により「臨床検査技師」と「臨床工学技士」の両資格取得可能なカリキュラム構成である。
- 5 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・医療秘書等を養成する他学部と交流し「チーム医療」を学べるカリキュラムがある。
- 6 クラス担任制のもと、授業以外においてもきめ細かな指導とバックアップ体制が確立している。
- 7 臨床経験豊富な教員を配置し、医療現場における実践力を重視した教育に取り組んでいる。

問8 群馬医療福祉大学が設置を計画している臨床検査技師養成、臨床工学技士養成の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか？それぞれの資格ごとに、次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

問8

--

- 1 社会的必要性が高い分野である
- 2 まあまあ社会的必要性を感じる分野である
- 3 あまり社会的必要性を感じない分野である
- 4 全く社会的必要性を感じない分野である
- 5 その他（ ）

問9 貴機関・貴施設・貴団体・貴社では、群馬医療福祉大学「医療技術学部（仮称）」を卒業し、臨床検査技師・臨床工学技士の資格を有する人材を採用したいと思いますか？次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

問9

--

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用したくない

問10 将来、群馬医療福祉大学「医療技術学部（仮称）」の卒業生（臨床検査技師・臨床工学技士）を毎年何人採用したいと考えますか？問9での「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を選択された資格について次の中から1つ選んで右の囲み欄に数字をご記入ください。

問10

--

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人
- 6 6人以上
- 7 人数は未定

問11 群馬医療福祉大学医療技術学部医療技術学科に関し、ご意見・ご要望がございましたら、お書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

▼このアンケートに関する問い合わせ先

株式会社日本ドリコム 東京営業部 TEL: 03-6746-0055 FAX: 03-6746-0053
〒171-8582 東京都豊島区高田 2-17-22 目白中野ビル 5F 担当: 相川・小池

【委託元: 群馬医療福祉大学】

JILPT 資料シリーズ

No.213 2019年3月

職業分類作業部会報告 I

—小分類項目の見直し—



資料シリーズ No. 213

2019 年 3 月

職業分類作業部会報告 I

—小分類項目の見直し—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

現行 (2011年改定)	(参考)日本標準職業分類	新規求人	新規求職	改定案	主な改定理由
123 獣医師	123 獣医師	1,485	490	133 獣医師	→そのまま小分類項目とする。
123-00		0	144	[分類番号の対応] 133 : 123 (123-01)	
123-01 獣医師		1,485	345		
124 薬剤師	124 薬剤師	70,596	8,149	134 薬剤師	○求人の状況 薬剤師(調剤)の求人・求職は多いが、薬剤師(医薬品販売)の求人・求職は少ない。求職者は124-00(小分類レベル)での登録が薬剤師(調剤)と同じくらい多く、このことから調剤が医薬品販売にこだわらない者が多いと考えられる。→マツチング上、調剤と医薬品販売に分けておく必要性は低いと考えられる。このため、細分類項目は廃止し、小分類項目とする。
124-00		456	3,619	[分類番号の対応] 134 : 124 (124-01、-02、-99)	
124-01 薬剤師(調剤)		61,695	3,849		
124-02 薬剤師(医薬品販売)		6,334	295		
124-99 他に分類されない薬剤師		2,171	386		
13 保健師、助産師、看護師	13 保健師、助産師、看護師	415,807	438,456		
131 保健師	131 保健師	7,113	4,775	141 保健師	→そのまま小分類項目とする。
131-00		0	1,060	[分類番号の対応] 141 : 131 (131-01)	
131-01 保健師		7,113	3,715		
132 助産師	132 助産師	3,924	1,891	142 助産師	→そのまま小分類項目とする。
132-00		0	508	[分類番号の対応] 142 : 132 (132-01)	
132-01 助産師		3,924	1,383		
133 看護師、看護士	133 看護師 (看護士を含む)	403,970	131,339	143 病院看護師 144 介護施設看護師 145 訪問看護師 146 看護師(病院・介護施設・訪問を除く) 147 看護士	○求人の状況 看護師の求人がとて多い。看護士の求人も多い。 ○ハローワークの意見 訪問看護、介護施設、総合病院、クリニック、デイサービス、保養所、企業内等で分類を分けて欲しい。 →和分類項目である看護士を4項目に分割した上で小分類項目に格上げ。看護士も小分類項目に格上げ。
133-00		728	16,545	[分類番号の対応] 143 : (133-01 (一部)) 144 : (133-01 (一部)) 145 : (133-01 (一部)) 146 : (133-01 (一部)) 147 : (133-02)	
133-01 看護師		345,598	86,014		
133-02 看護士		57,544	28,679		
14 放射線技師	14 放射線技師	154,310	35,602		
141 診療放射線技師	141 診療放射線技師	5,876	2,846	151 診療放射線技師	→そのまま小分類項目とする。
141-00		0	671	[分類番号の対応] 151 : 141 (141-01)	
141-01 診療放射線技師		5,876	2,175		
142 臨床工学士	142 臨床工学士	2,350	1,784	152 臨床工学士上	→そのまま小分類項目とする。
142-00		4	401	[分類番号の対応] 152 : 142 (142-01)	
142-01 臨床工学士		2,346	1,383		

現行（2011年改定）		(参考)日本標準職業分類		新規求人	新規求職	改定案	主な改定理由
143	臨床検査技師	143 臨床検査技師		11,144	6,434	153 臨床検査技師	→そのまま小分類項目とする。
143-00	0			1,644	[分類番号の対応] 153 : 143 (143-01)		
143-01	臨床検査技師			11,144	4,790	154 理学療法士	○厚生労働省職業分類独自の小分類項目 →そのまま小分類項目とする。
144	理学療法士			35,787	5,867	[分類番号の対応] 154 : 144 (144-01)	
144-00				23	1,601		
144-01	理学療法士	144 理学療法士、作業療法士		35,764	4,266	155 作業療法士	○厚生労働省職業分類独自の小分類項目 →そのまま小分類項目とする。
145	作業療法士			21,405	4,277	[分類番号の対応] 155 : 145 (145-01)	
145-00				0	1,016		
145-01	作業療法士			21,405	3,261	156 視能訓練士	○求人の状況 視能訓練士、言語聴覚士それぞれの求人は少ない。
146	視能訓練士、言語聴覚士			11,037	2,357	157 言語聴覚士	○資格等 資格が明確に違っており、仕事内容も分かれているため、求人も別に出されると考えられる。 →細分類項目をそれぞれ小分類項目に格上げ。
146-00	視能訓練士	145 視能訓練士、言語聴覚士		1	171	[分類番号の対応] 156 : (146-01)	
146-01	視能訓練士			2,879	808	157 : (146-02)	
146-02	言語聴覚士			8,157	1,378	158 歯科衛生士	→そのまま小分類項目とする。
147	歯科衛生士			62,631	14,582	[分類番号の対応] 158 : 147 (147-01)	
147-00				0	3,522		
147-01	歯科衛生士	146 歯科衛生士		62,831	11,050	161 歯科技工士	→そのまま小分類項目とする。
148	歯科技工士			3,880	1,435	[分類番号の対応] 161 : 148 (148-01)	
148-00				0	381		
148-01	歯科技工士			3,880	1,054		
15 その他の保健医療の職業				15 その他の保健医療の職業	501,356	39,470	
151	栄養士、管理栄養士	151 栄養士		59,601	26,968	171 栄養士	○求人の状況等 栄養士の求人が多く、管理栄養士の求人も比較的多い。また、求職者は、栄養士、管理栄養士が同程度である。必要な資格も違っている。 →細分類項目をそれぞれ小分類項目に格上げ
151-00				133	4,689	[分類番号の対応] 171 : (151-01)	
151-01	栄養士			45,782	11,576	172 : (151-02)	
151-02	管理栄養士			13,586	10,403		